

令和2年度 事業報告書 目次

令和2年度事業報告	1
令和2年度事業概要	3～14
令和2年度諸事業の詳細	15
1. 法人運営	
(1) 会議の開催状況	
ア. 理事会	15
イ. 評議員会	15
ウ. 部会・委員会	15
エ. 監査	16
オ. 正副会長会	16
(2) 社協組織の強化	
ア. 社協会員・会費の年度推移	17
イ. 寄付者名簿	18
(3) 広報活動	19
(4) 名義後援	19
(5) 人材育成の取組	20
(6) 組織図	21
(7) 事務局体制の強化と役職員の資質向上	21
(8) 亀岡市共同募金委員会	22
2. 地域福祉推進事業	
(1) くらしのサポートサービス事業	22
(2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業	23
(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）	24
(4) 生活福祉資金貸付事業	25
(5) 福祉金庫資金貸付事業	27
(6) 亀岡市生活支援体制整備事業	28
(7) 福祉生活課題解消支援事業	42
(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業	42
(9) 福祉用品貸出事業	48
3. ボランティア活動支援事業	
(1) ボランティアセンター運営事業	50
(2) 災害ボランティアセンターの運営・活動	51

4. 福祉教育	
(1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業	5 3
(2) 夏休み社会福祉体験学習事業	5 3
5. 各種団体への支援	5 3
6. 介護保険事業 介護予防・日常生活支援総合事業	
(1) 訪問介護・総合事業第1号訪問(ホームヘルプ)事業	5 8
(2) 通所介護・総合事業第1号通所(デイサービス)事業	5 8
(3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業	5 9
7. 障害者自立支援給付事業	5 9
8. 子育て支援事業	
(1) ひろば事業	6 0
(2) つどい事業	6 2
(3) 妊婦来館推進事業	6 4
(4) 相談事業(おひさま)	6 4
(5) 情報提供事業	6 5
(6) 子育てサークル・サロン支援	6 6
(7) チャイルドシート貸出事業	6 6
(8) ファミリー・サポート・センター事業	6 6
9. 市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪!かめおかの輪!～	7 0
10. 共同募金事業	7 0
11. 歳末たすけあい運動	
(1) 協力団体	7 1
(2) 募金の使途	7 2
(3) 募金収入	7 2
(4) 物品寄付	7 4
(5) 年末年始事業	7 5

令和２年度 事業報告

当協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らしていただけること」を基本に、地域の皆様がそれぞれの地域で自立し、お互いに支え合い、助け合いながら共に生きることができる地域共生社会の実現を目指し、「支え合い 助け合いのある 顔の見えるまち かめおか」を基本理念とし、各事業に取り組んでいます。

今日、社会を取り巻く状況は、急速に進展する少子高齢化や社会・経済状況の急変に伴い、個人や世帯が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化しています。

さらに、未だ治まらない新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、「生活困窮」「社会的孤立」に拍車をかけており、「つながり」を大切にしている福祉の現場として、これまでの「つながり」から、新たな「つながり」を考える１年となりました。

今まで以上に、複合的な課題やコロナ禍の影響を受け複雑化した課題が顕在化する中で、既存の福祉制度等の狭間から生じる社会的課題に対し、各地域の課題を把握し、地域住民の皆様により一層寄り添い、関係機関・団体の皆様と協働して問題解決に取り組みました。

当協議会では、地域福祉の推進をより一層進めるため平成２８年度に「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」「基盤づくり」を４つの基本目標とした「改定版かめおか地域福祉活動計画」を策定し、一定の成果を上げることができました。そして、亀岡市において令和２年度に策定されました第３期亀岡市地域福祉計画を受け、当協議会も地域共生社会の実現に向け取り組みを進めてまいります。

令和２年度の各事業につきましてもコロナ禍の中、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者の皆様と、例年のようなつながりを持つことはできませんでしたが、反面、地域に出向き各地域や福祉活動、住民の皆様の状況を知るため地域の声に耳を傾け、こんなときだからこそ「つながり」の大切さを今一度考え、そして今できることを模索し地域福祉の支援を実施しました。

この間、地域の皆様には多大なご理解とご協力をいただきましたことに改めまして感謝申し上げます。

また、亀岡市をはじめ行政機関のご理解、ご協力及び新型コロナウイルス感染予防へのご支援をいただき、地域福祉の更なる推進を図るため各事業を実施しました。

介護保険事業、子育て支援事業につきましても、新型コロナウイルス感染予防の対策をしっかりと行い、利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう職員一同努めるとともに、利用者個々のニーズに応じた質の高い介護保険サービス等の提供、利用者に寄り添った支援・相談等に努めました。

災害ボランティアセンターにつきましては、令和元年度、京都府市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロック３社協の間で災害時における相互協力が的確に行えるよう災害ボランティアセンターに関する協定を締結したことを踏まえ、コロナ禍での災害ボランティアセンターの活動を３社協の職員でシミュレーションをし、話し合いながら被災者のためのスムーズな活動につながる訓練を実施しました。

また、組織体制につきましては、会長を筆頭に新型コロナウイルス感染の対応を職員全体で考えながら、職員一人一人が社協としての役割をしっかりと果たせるよう努めました。そして、このコロナ禍を乗り越えた先には「やさしさと思いやりのある福祉のまち・亀岡」をより一層具現化できると信じ、各事業の推進に今日も取り組んでおります。

令和２年度も当協議会の事業実施のため、多くの市民の皆様等から尊い寄付金・寄付の品々、また、社協会費へご協力をいただき心から厚くお礼申しあげます。

以下、令和２年度の各事業につきまして、その概要を報告します

令和2年度 事業概要

※事業項目の横に次のロゴで財源を記載しています。

亀岡社協	社協会費等の自主財源や基金の運用益	赤い羽根	毎年10月～3月にかけて実施する「赤い羽根共同募金」の配分金
歳末募金	毎年12月に実施する「歳末たすけあい募金」配分金	利用料	参加者や利用者の負担金
補助委託	亀岡市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業	介護保険	介護保険事業収入
障害福祉	障害福祉サービス等事業収入		

※地域福祉活動計画の各事業については、事業名の横に次のロゴで目標を記載しています。

人づくり	基本目標1・地域福祉の担い手を育む「人づくり」	絆づくり	基本目標2・共に支え合う地域の「絆づくり」
地域づくり	基本目標3・住民主体の地域福祉を推進する「地域づくり」	基盤づくり	基本目標4・社協活動への理解と参画を広げる「基盤づくり」

1. 法人運営

亀岡社協

利用料

基盤づくり

担当：総務管理係

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の事業計画を変更せざるを得ない年度となり、コロナ禍だからこそ出来ることは何かを考えいまだ続く感染症にどのように対応していくのかを考える年となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により人と人との繋がりが希薄化している状況を踏まえ、地域福祉活動計画「人づくり、絆づくり、地域づくり、基盤づくり」の目標を再認識し各事業に取り組んでまいりました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、人口減少が進み厳しい状況の中で、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解とご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額8,869,410円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付を合わせて総額1,329,584円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

平成29年度から取り組んでおります「ふくかめ自動販売機」（寄付付き自動販売機）の設置は、令和2年度におきましても引き続き積極的に推進し、施設管理者、自動販売機事業所のご理解とご協力のもと、亀岡運動公園体育館2F談話室、保津川水辺公園に各1台ずつ設置することができました。

また、昨年度より実施しております職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指した、職員による職員のための「職員研修」は新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、職員として基本的な公文書作成のポイントを理解する研修とし、時間・利用人数の制限を意識しながら、2回に分けて事務局長から指導を受けました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・フェイスブック・社協かめおか等で広報活動を行いました。

2. 地域福祉推進事業

亀岡
社協

赤い
羽根

補助
委託

利用
料

絆づくり

地域づくり

住民の皆さんから日々寄せられる暮らしの困りごとに対して、生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。また、「地域共生社会」の実現のため、地域住民一人ひとりが「支え手」と「受け手」という関係を超えて、支え合い助け合いのできる地域コミュニティをめざしその仕組みづくりの構築、また、いわゆる“ひきこもり”や社会的孤立問題など、地域の福祉的課題に対しても重点を置いて取り組みました。

今年度については『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』が実施運用され、多くの相談を受け付けました。

(1) くらしのサポートサービス事業

担当：生活支援係

住民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ家事援助や外出同行などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は67名（前年度比＋3名）となりました。新型コロナウイルス感染症にともなう京都府への緊急事態宣言発出を受け、2度の活動中止期間を設けました。

(2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

担当：地域福祉係

体操や脳トレなど介護予防に重点を置き、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供することにより、心身の健康保持に努めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための開催中止もあり、活動回数は35回（前年度比△14回）で延利用人数は252人（前年度比△104人）となりました。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

担当：生活支援係

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。今年度は利用希望者が速やかに支援につながるができるよう積極的に新規契約に取り組みました。その結果、年度末利用者数は45名となり、前年度と比較し10名の増加となりました。

活動回数については利用者個々の状況により、年間延べ1,089回（前年度比＋15回）と微増しましたが、お一人おひとりの抱える課題が重層かつ複雑化している傾向は継続して見られ、1件に関わる時間は増加しています。

(4) 生活福祉資金貸付事業

担当：生活支援係

低所得者世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し相談窓口となり、府社協から資金貸付けを行いました。

今年度については『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』への対応が大きなウエイトを占めました。当初は令和2年7月までの時限運用の予定でしたが、感染拡大を受け国の方針により令和3年6月まで申請期限が延長となっています。

通常分・特例分合計で1,872件（前年度比＋1,832件）の申請を受け付け、7億8995万3千円（前年度比＋7億7319万9千円）の決定を府社協より受け、貸付希望者の生活再建に繋がるよう支援を行いました。

(5) 福祉金庫資金貸付事業

担当：生活支援係

当協議会独自の貸付として、住民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした制度です。令和2年度の福祉金庫貸付実績は合計2件で、総額40,000円（前年度比△1件、△20,000円）の貸付となりました。

(6) 亀岡市生活支援体制整備事業

担当：地域福祉係

令和2年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら、地域資源・ニーズの把握・地域資源の開発・ネットワークの構築・ニーズと取組のマッチング等にむけ取組をすすめ、2025年までの亀岡市における地域包括

ケアシステムの構築をめざしています。亀岡市の第7期介護保険事業計画（平成30年度から令和2年度）で目標としている、『小さな学習会の開催を重ね、市民が主体となって生活支援体制整備を進める理念を広げること、「通いの場」の把握、活動の担い手の発掘』に留意し、令和元年度に開催した第1層協議体会議からの意見を踏まえ、以下のように取り組みました。

①「地域カルテ（仮称）町別地域データ BOOK」の作成を通じ、生活支援コーディネーターと自治会・地区社協をはじめ地域活動者や地域活動団体と連携を図り、「共生（ともいき）のまちづくり」への理解をひろげました。

②令和元年度末の第1層協議体で設置された「実務者会議」を活動の軸とし、生活課題に着目する中で関係団体と連携と取りながら、身近な地域情報を伝えてくれる「ともいきさん」というしくみを展開することとし、第2層（日常生活圏域）協議体設置につながる取組をすすめました。

③新型コロナウイルス感染拡大の中、高齢者ふれあいサロンや通いの場等が全面休止となる中、コロナ禍でも安心して開催できる新しい形を一緒に考えていく支援として、市の保健師同行の出張相談を行い、「ともいき NEWS」の発行を通じ情報提供し、高齢者の生きがい活動や見守り活動を守るための働きかけを行いました。

（7）福祉生活課題解消支援事業

担当：地域福祉係

① 地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、「老いる前の整理始めます」と題し、地域でつながりながら健康で安全に暮らせる生活について考える機会として講演会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染に係る緊急事態宣言の発出を受けて延期することとしました。

② 当事者から希望が出ていた「居場所」につきましては、京都府の「ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金」を利用して、9月から開催することができました。スモールステップとして、自宅から定期的に外出する機会や家族以外の人との会話、また、共同作業をする機会を持つてもらうことができました。（年7回実施、延40人参加）

（8）社会的孤立防止対策見守り活動事業

担当：地域福祉係

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを構築し、地域福祉の推進を行うこと、また、社会

的孤立が危ぶまれる人の「発見」、発見された人を適切な機関に「つなげる」、またどこにもつながらない人や地域との係わりを拒否している人などを「見守る」ためのシステム（ネットワーク）づくりを目的として事業を展開しました。

ア．地域福祉コミュニティ推進のための事業

① 地区社会福祉協議会の推進及び活動支援

地区社会福祉協議会は市内 12 地区で組織されており、研修会への参加促進や助成金支援等、各地区社会福祉協議会の活動支援を積極的に行うとともに、設立されていない地区につきましても、引き続き地域のニーズを把握し、地域の実情に応じた組織づくりへの支援を行いました。

② 地域サロン活動及び社会的孤立が危ぶまれる人への理解の推進

サロン活動等小さい単位での地域活動に出向き、孤立しがちな高齢者や災害時の要配慮者への理解を求める講座を行い、見守り通報活動等の協力を求めました。サロン活動による見守り等によって高齢者の孤立・孤独を防ぎ安全・安心な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るため、自治会、地区社協等に訪問し、見守り活動の声掛けをするとともに支援を行いました。

イ．地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くありました。

相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら解決に向けて取り組むとともに、電話による状況確認、訪問など継続的でさりげない見守りを行いました。

相談件数 111 件 対応回数 199 件（昨年度比：相談＋54 件 対応＋119 件）

ウ．見守りサポーター養成講座

要配慮者の見守り支援を行うサポーターの養成と活動の充実を図るため、定例会や研修会の開催と研修会において活動についての話し合いや技術の向上を図りました。

エ．青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象にした家族教室を開催（年 3 回実施、参加人数 延べ 20 名 前年度比：△2 回、

△12 名)するとともに、ひきこもりがちな方が安心して出かけられる居場所の一つとして社協内に一室設け、個別相談等の対応も行いました。(3 名、対応回数 20 回)

また、ひきこもり状態にある方の社会参加支援事業としての居場所『秋桜(コスモス)』も開催することができました。(年 7 回実施、参加人数のべ 40 人)

福祉、教育、医療などの支援機関同士のつながりを目的とした連携強化のためのネットワーク会議の開催など連携体制の構築に努めました。併せて、引きこもりにかかる相談窓口の周知のためチラシの全戸配布や公式 LINE の配信(8 回)を行いました。(ひきこもり相談: 14 件)

オ. 要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月 1 回、市と社協の担当で検討会議を開催し、事業の進行状況の確認や個別ケースについて協議しました。

カ. 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

新型コロナウイルスの影響の為、活動を自粛されたサロン等に対して、亀岡市の保健師と連携し出張相談を実施しました。(35 件)

出張相談で聞き取ったニーズを基に、アルコール消毒液の配付事業(41 団体)、非接触型体温計の貸し出し事業(56 件)、サロン対象の広報誌の発行(年 5 回)を行いました。

(9) 福祉用品貸出事業

担当: 総務管理係

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に提供するため、ベッド 29 件(前年度比△2 件)、車イス 105 件(前年度比△50 件)の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への活動支援を目的に、合計で 90 件(前年度比△97 件)のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症により事業を中止されたため大幅に減少しました。

3. ボランティア活動支援事業

亀岡
社協

補助
委託

人づくり

担当: 地域福祉係

ア. ボランティアセンター

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしてい

ます。(個人ボランティア 19 名、ボランティアグループ 34 グループ)

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

ボランティアセンター登録グループを紹介したチラシを年 2 回発行し、全戸回覧を行いました。回覧後は登録を希望されるグループや、グループに所属したい方が増えました。

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくるボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄付をいただき、エコキャップは開発途上国のポリオワクチン代として寄附するため約 84,000 個(昨年度比△50,000 個:キャップ 800 個でワクチン 1 人分)を収集することができ、再資源化業者へ送付しました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、受付を中止しており、仕分け作業や発送も休止していましたが、令和 3 年 6 月より受付を再開します。

イ. 災害ボランティアセンター

コロナ禍で発生した令和 2 年 7 月豪雨災害は、九州地方を中心に河川氾濫等により大規模・広域被害をもたらしました。7 県 27 市町村に災害ボランティアセンターが設置され、コロナ禍のもと、各地の災害ボランティアセンターでは、これまでに経験のない感染拡大防止のための対応や工夫を図りながら、被災者支援を継続する取り組みを続けてきました。

本市災害ボランティアセンターでも、今後の災害発災時にはセンター運営において感染症対策が必須の課題となると捉え、南丹ブロック社協での合同訓練および本市災害ボランティアセンター単体でも感染拡大防止を念頭に訓練を実施し、運営上での工夫や課題を職員間で共有することができました。

4. 福祉教育

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

市内の小中学校(計 16 校)に対して合計 31 回ボランティア・福祉体験を実施しました。児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の対策として、関係団体と連携し、DVD の作成を行い、対面での

実施が難しい学校への貸出しを 16 回行いました。

夏休み期間中に中学生・高校生が、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいなどを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により日程の確保が困難となったため、本年の開催は中止としました。各学校及び各施設・団体へ来年度参考用の受入れ施設・団体一覧表を送付しました。

5. 各種団体への支援

亀岡
社協

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応やについて、また、地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について役員会や総会・施設見学・情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。今年度はコロナ禍にあったことで、各施設において、今必要なことや課題について、アンケートを取り集約したものをもとに亀岡市との懇談会を行い、情報共有をすることができました。

② 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 49 の老人クラブが加盟する約 2,300 名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。

⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

6. 介護保険 介護予防・日常生活支援総合事業

介護
保険

補助
委託

介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の3事業を行い、「中重度の方や、認知症の方を受け入れる体制づくり」や「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」に心がけました。中重度加算・認知症加算を含めた健全な事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額 107,899,804 円（前年度比+12,502,467 円）となりました。

（1）訪問介護（ホームヘルプ）事業

担当：ホームヘルプセンター

介護保険法に基づき、要支援や要介護の認定を受けられた利用者宅を訪問介護員（ヘルパー）が訪問し、入浴・排泄・食事などの身体介助や掃除・洗濯・買い物など日常生活上の支援を行い、年間利用者人数は 677 名（前年度比+11 名）となりました。

（2）通所介護（デイサービス）事業

担当：デイサービスセンター

介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響のなか調理やクラフト、デイサービスの立地を活かしたバラ園の散策や展示会の見学などサービス内容を改め、1 日平均 20 名の方に利用していただきました。

（3）居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

担当：老人介護支援センター

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行ないました。要介護者の担当件数は年間 1,239 件（前年度比+403 件）でした。

また、居宅支援サービスの充実を図るため、主任介護支援専門員を配置し 3 名体制としました。特定事業所加算の算定を行い、24 時間対応できる体制としました。

7. 障害者自立支援給付事業

補助
委託

障害
福祉

担当：ホームヘルプセンター

《ホームヘルプ事業》

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、訪問介護員（ヘルパー）が入浴・排泄・食事などの身体介助や掃除・洗濯・買い物など日常生活上の支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサービスの提供に努めましたが、年間利用者数は274名（前年度比△10名）となりました。

8. 子育て支援事業

補助
委託

人づくり

絆づくり

地域づくり

基盤づくり

担当：子育て支援センター

ア. 子育て支援事業

（ひろば事業、つどい事業、相談事業（おひさま）、妊婦来館推進事業、情報提供事業
子育てサークル・サロン支援、チャイルドシート貸出事業）

コロナ禍の中、子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業（かめおかっこひろば：1日平均27名利用、かめまるランド：1日平均163人名利用）、つどい事業（年間56回開催）、相談事業（「おひさま」：年間426件の相談に対応）の各種事業や情報提供を行いました。全体的なひろばの傾向として、子どもを連れたお父さんたちの利用が土日を中心に増えました。相談事業については、利用者支援事業として専門員によるきめ細かな対応ができました。また、地域における子育て支援として、つどい事業の一環である『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員をはじめ地域の方々のご協力を得て3箇所で開催し、地域に根付いた事業として定着しています。参加者は48名でした。

今年度も妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し行いました。妊婦登録者は第2子、3子を出産する方の割合が多い傾向にあります。今年度の登録者は46名となっています。

これらの子育て支援事業の他に情報誌「かめおかっこひろば おたより」、LINE、Facebookなどを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム（かめおかっこひろば）開館日数は247日で、来館者数は延

べ6,698名となりました。

特に今年度については、12月21日にこどものあそびば「かめまるランド」がオープンし、ひろば事業が拡大されました。来館者数は延べ13,838人でした。

イ. ファミリー・サポート・センター事業

担当：ファミリー・サポート・センター

学童保育時における迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間929件の支援活動を行いました。

また、コロナ禍の中、感染予防を徹底しながら、まかせて会員講習会を1回開催し、子どもの発達や人権、子どもの安全や身近な事故の応急手当等について研修を行ったところ、延べ22名の会員が参加し、日常の活動に役立てていただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の影響等により会員登録の問い合わせや援助活動回数が増加しました。

9. 市民福祉のつどい

亀岡
社協

補助
委託

絆づくり

担当：地域福祉係

「つながりあおう！地域の輪！かめおかの輪！」をテーマに障がい児者、高齢者、親と子、世代を超えてさまざまな人が集い、交流しお互いに思いやり、共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティの形成を目指して、地域福祉の輪を広げることを目的に例年開催していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大に伴い、やむを得ず中止といたしました。

10. 共同募金事業

赤い
羽根

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係（募金事務・募金依頼・募金付き自販機）

担当：地域福祉係（助成・イベント募金・募金百貨店）

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の方にご協力いただいています。

より多くの市民の方にご理解とご協力いただき募金強化を図るため、イベント募金活動、赤い羽根共同募金機能付き自動販売機の設置（JA京都本店1台）、寄付つき商品を販売いただく募金百貨店プロジェクト（紙芝居絵本「ぐーちょきばーまっさーじ」の登

録)の推進を積極的に行いました。

市民の方々にご協力いただいた募金やイベント募金、自動販売機、寄付つき商品を通じての募金については、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を亀岡市共同募金委員会の審査委員会で審査、運営委員会で承認後、64団体、合計2,791,058円の配分金を助成しました。

11. 歳末たすけあい運動

歳末
募金

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、令和2年12月1日から1ヶ月間、亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。

令和2年度の街頭募金は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせ、運動が始まる12月1日に亀岡駅にて街頭啓発活動を実施しました。

歳末募金の使途につきましては亀岡市共同募金委員会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計837件、4,185,000円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設19箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者やひとり親家庭の方などを対象とする地域での援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計1,958,000円を助成しました。

令和2年度 諸 事 業 の 詳 細

1. 法人運営

(1) 会議の開催状況

ア. 理事会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 5月28日(木)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	15名 (監事 3名を 含む)	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度社会福祉事業決算について 3. 令和元年度公益事業決算について 4. 評議員の同意について 5. 評議員会の開催について
第2回 令和2年 6月11日(木)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	15名 (監事 3名を 含む)	1. 副会長の選任について
第3回 令和2年 11月11日(水)	ガレリア かめおか	11名 (監事 3名を 含む)	1. 定款の一部改正について 2. 令和2年度社会福祉事業補正について
第4回 令和3年 3月26日(金)	ふれあい プ ラ ザ	11名 (監事 2名を 含む)	1. 令和3年度事業計画について 2. 令和3年度社会福祉事業当初予算について 3. 令和3年度公益事業当初予算について

イ. 評議員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 6月11日(木)	ガレリア かめおか	19名 (監事 2名を 含む)	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度社会福祉事業決算について 3. 令和元年度公益事業決算について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について
第2回 令和2年 11月11日(水)	ガレリア かめおか	18名 (監事 2名を 含む)	1. 定款の一部改正について 2. 令和2年度社会福祉事業資金収支補正予算について
第3回 令和3年 3月26日(金)	ガレリア かめおか	16名 (監事 2名を 含む)	1. 令和3年度事業計画について 2. 令和3年度社会福祉事業当初予算について 3. 令和3年度公益事業当初予算について

ウ. 部会・委員会

◎企画調整部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 6月30日(水)	ガレリア かめおか	8名	1. 令和2年度社会福祉協議会会員(会費)の募集について

◎ボランティア福祉部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 8月18日(火)	ガレリア かめおか	8名	1. 亀岡市ボランティア基金設置要綱及び運用益助成要領の改正について 2. 令和元年度亀岡市ボランティア基金助成金の報告について 3. 令和2年度亀岡市ボランティア基金の交付決定について 4. 集めて送るボランティア・ボランティア基金の運用について

◎介護保険部会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 7月27日(月)	ガレリア かめおか	5名	1. 第8期亀岡市介護保険事業計画に関わる亀岡市社会福祉協議会の役割について
第2回 令和2年 10月23日(金)	ふれあい プラザ	4名	1. 第8期亀岡市介護保険事業計画に関わる亀岡市社会福祉協議会の役割について

◎評議員選任・解任委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 6月3日(水)	苗秀寺	6名	1. 評議員候補者の推薦について

エ. 監査

年 月 日	場 所	出席者	案 件
令和2年 5月13日(金)	ふれあい プラザ	4名 (会長含む)	1. 令和元年度社会福祉事業及び公益事業決算の監査

オ. 正副会長会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 5月19日(火)	ふれあい プラザ	3名	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度社会福祉事業及び公益事業決算について
第2回 令和3年 3月5日(金)	ふれあい プラザ	3名	1. 令和2年度補正予算について 2. 令和3年度事業計画について 3. 令和3年度社会福祉事業当初予算について 4. 令和3年度公益事業当初予算について

※ 令和2年5月・6月 開催の理事会及び令和3年3月開催の部会については、「新型コロナウイルス感染症」拡大予防のため、書面決議にて承認を得ています。

(2) 社協組織の強化

ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
平成30年度	14,883	9,583,900
令和元年度	14,222	8,891,025
令和2年度	14,274	8,869,410

【会費区分別内訳】

	町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額	元年度	
		D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額
一 般 会 費 ・ 賛 助 会 費	亀岡東部地区	人 0	人 0	人 0	人 0	人 1	人 20	人 1,441	人 2	人 1,464	円 743,100	人 1,410	円 704,650
	亀岡中部地区	0	0	0	0	0	0	969	3	972	484,900	1,081	540,300
	亀岡西部地区	0	0	0	0	0	0	708	41	749	368,220	697	348,050
	東別院町	0	0	0	0	0	189	207	13	409	298,100	400	294,000
	西別院町	0	0	0	0	0	0	224	0	224	112,000	218	109,000
	曾我部町	0	0	0	0	0	9	775	1	785	408,500	819	417,500
	吉川町	0	0	0	0	0	7	153	0	160	83,500	153	78,000
	蔭田野町	0	0	0	0	4	32	628	0	664	354,000	664	335,500
	本梅町	0	0	0	0	0	7	369	0	376	191,500	377	198,975
	畑野町	0	0	0	0	0	29	121	0	150	89,500	118	59,500
	宮前町	0	0	0	0	1	221	201	1	424	323,790	357	335,500
	東本梅町	0	0	0	0	0	0	181	0	181	90,500	179	89,500
	大井町	0	0	0	0	1	8	1,310	121	1,440	701,100	1,456	707,000
	千代川町	0	0	0	0	1	37	1,090	45	1,173	595,000	1,243	615,700
	馬路町	0	1	0	0	0	298	92	0	391	354,000	384	348,500
	旭町	0	0	0	0	0	0	303	0	303	151,500	198	127,000
	千歳町	0	0	0	0	1	241	84	0	326	285,000	323	278,000
	河原林町	0	0	0	0	0	16	222	0	238	127,000	233	116,500
	保津町	0	0	2	0	0	339	130	0	471	414,000	491	426,500
	篠町	0	0	0	0	2	67	1,764	118	1,951	966,600	1,940	852,300
	東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	44	212	26	282	156,500	291	156,000
	西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	157	424	0	581	369,000	601	372,000
	南つつじヶ丘	0	0	0	0	0	0	388	1	389	194,100	367	165,550
	小 計	0	1	2	0	11	1,721	11,996	372	14,103	7,861,410	14,000	7,675,525
	その他	0	24	13	20	23	33	30	0	143	459,000	194	666,500
	合 計	0	25	15	20	34	1,754	12,026	372	14,246	8,320,410	14,194	8,342,025
施 設 会 費	社会福祉施設									13	363,000	13	363,000
	保育所・園									15	186,000	15	186,000
	合 計									28	549,000	28	549,000
会費合計										14,274	8,869,410	14,222	8,891,025

※ 施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分（366,000 円）を含む。

イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付・指定寄付

（単位：円）

町 名	寄 付 者 名	金 額	付 記
南つつじヶ丘	高倉 博美	50,000	高齢者支援事業
余部町	浅田 みさを	50,000	地域福祉事業
追分町	イマイグループ安全衛生協力会	200,000	地域福祉事業
曾我部町	木内 一博	50,000	地域福祉事業
大井町	株式会社三煌産業安全協力会	452,000	地域福祉事業
大井町	大井町ゴルフ協会 会長 仲井資具	50,000	地域福祉事業
蕨田野町	亀岡 JC じゃがいもクラブ	50,000	地域福祉事業
匿名 6 件		239,000	高齢者支援事業 地域福祉事業 指定寄附（こども食堂へ）
ふくかめ（寄付つき）自動販売機		188,584	年間 8 台分
合 計	1 4 件	1,329,584	

○物品寄付・指定寄付

町 名	寄 付 者 名	寄 付 物 品
曾我部町	曾我部町自治会	ブルタブ 4.3kg・エコキャップ 11.3kg
宮前町	株式会社イーエル・オカモト	ブルタブ 2.3kg・エコキャップ 4.6kg
旭町	三宅 未来、徠輝、來良	ブルタブ 500g・エコキャップ 4.2kg
篠町	ナルク亀岡丹の里	ブルタブ 4.1kg・エコキャップ 12.7kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 2.2kg
南つつじヶ丘	特定非営利活動法人諸星塾 六信みどり	ブルタブ 11.8kg・エコキャップ 20.3kg
蕨田野町	亀岡市立蕨田野小学校	ブルタブ 5kg
下矢田町	村上 悟司	ブルタブ 2.9kg
吉川町	吉川町自治会	ブルタブ 1.9kg・エコキャップ 5.8kg・古切手 100g
蕨田野町	鈴木 セツ	手作りマスク 20 枚
京都市上京区	高松 朗良	ブルタブ 2.6kg
河原林町	（福）利生会特別養護老人ホーム亀岡園	エコキャップ 7kg
荒塚町	明治安田生命京都支社亀岡営業部	タオル 128 枚
京都市中京区	第一生命保険株式会社京都総合支社	マスクケース 170 枚
千歳町	野々村 絹子	マスク 206 枚
三宅町野々神	水口	座布団 10 枚
	郵便局長夫人会亀岡部会	雑巾 100 枚
匿名 5 件		シルバーカー・シャワーチェア・車イス（2 台）・紙パンツ・肌着・車イス用スロープ・お米（24.4kg）
合計		2 2 件

- ・切手、プリペイドカードは、知的障がい者を支援するため取扱機関へ送付しました。
- ・空き缶のブルタブは車椅子交換のため、また、エコキャップはポリオワクチン代と

して寄付するため、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

○『ふくかめ自動販売機』（寄付つき自動販売機）の設置推進事業

亀岡市の地域福祉を充実させるために、企業・自治会・地域の皆様が所有される建物や土地のスペースに自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

☆令和２年度 設置目標２台 ⇒ ２台設置

【各自動販売機 寄付金実績】

(単位：円)

自動販売機設置場所：協力者	年間寄付金	備考（設置期間）
吉川町公民館（敷地内）：吉川共栄報徳会	4,481	H29年9月29日設置
馬路町生涯学習センター：馬路町自治会	4,585	H29年9月29日設置
ふれあいプラザ前：亀岡市社協	80,169	H29年9月29日設置
東つつじヶ丘ふれあいセンター ：東つつじヶ丘自治会	24,632	H29年12月12日設置
保津町自治会（敷地内）：保津町自治会	5,966	H30年9月19日設置
サンガスタジアム by KYOCERA ：合同会社ビバ&サンガ	12,735	R2年1月8日設置
亀岡運動公園 体育館2F談話室 ：亀岡市パーク commons	3,144	R2年5月1日設置
保津川水辺公園：保津町自治会	52,872	R2年5月1日設置
合 計	188,584	

(自動販売機設置協力事業所：(株)伊藤園)

令和２年度に『ふくかめ自動販売機』を通した上記寄付金を、見守り活動に活用させていただきました。

・見守り活動・・・業務車両用ドライブレコーダー購入 ３台

(3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年４回 32,200部/1回

配布方法 自治会を通じての全戸配布及び市内関係機関へ配布

イ. ホームページ・フェイスブック

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体として活動内容や各種情報を掲載しました。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議会

<http://www.fukukame-net.or.jp/>

(4) 名義後援

当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行いました。

事業名	名義後援 件数
地域福祉事業	1 件
高齢者福祉事業	4 件
障がい福祉事業	1 件
子育て支援事業	0 件
その他	0 件
合 計	6 件

(5) 人材育成の取組

職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指し、社協職員全員が社協全体を知ること、理解すること、社協職員としての自覚を持ち、縦割りの業務にならないように、各係・センターが“つながり”を考えながら各々の業務をすることを目的として取り組みました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、職員として基本的な公文書作成のポイントを理解する研修とし、時間・利用人数の制限を意識しながら、事務局長から指導を受けました。日頃の公文書作成にあたり、疑問に思う点など質疑応答も交え参加職員は積極的な姿勢で研修を受講しました。

ア. 「亀岡市社協職員研修」

年 月 日	研修担当 係・センター	参加人数	内 容
令和2年 11月20日(金) 17:45~18:45	事務局長	18名	『伺書・公文書作成の基本を学ぼう!』第1回
令和3年 2月19日(金) 17:45~18:45	事務局長	14名	『伺書・公文書作成の基本を学ぼう!』第2回

イ. 社会福祉援助技術現場実習生受入れ

【趣旨】

当協議会では「福祉人材の育成」を大切な役割の一つと考え、その一環として社会福祉士受験資格取得に必要である「社会福祉援助技術現場実習」を積極的に受け入れています。

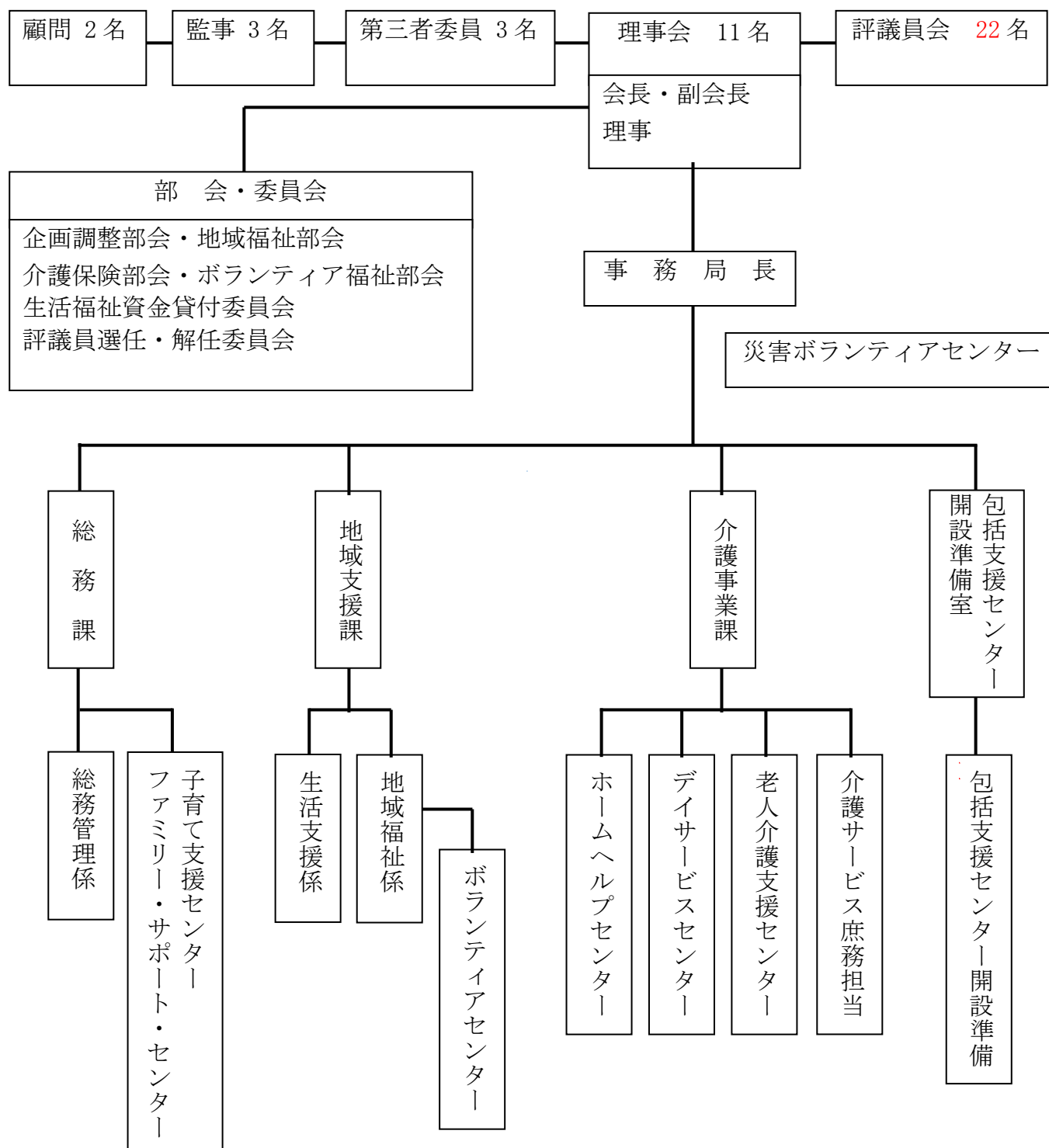
【実績】

年 度	受入れ人数	依頼元大学
平成30年度	1名	花園大学
令和元年度	1名	花園大学
令和2年度	2名	佛教大学(通学・通信 各1名)

(6) 組織図 (令和2年度：令和3年3月31日現在)

計 91 名 (正職員 27 名 嘱託職員 8 名 非常勤職員 3 名

登録ヘルパー15 名 生活支援員 18 名 臨時職員 20 名)



(7) 事務局体制の強化と役職員の資質向上

年間を通して実施している研修についてはコロナ禍の中、実施が厳しい状況となったため例年通りの研修の実施をすることができませんでした。

外部研修においては、ほとんどが WEB 開催の研修・講座の実施であったため、通常

であれば1名の参加になるところが数名の参加も可能のメリットを生かし、コロナ禍においても職員は積極的に参加することができました。

(8) 亀岡市共同募金委員会

◎審査委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 6月19日(金)	ガレリア かめおか	8名	1. 公募申請書類の個別審査・承認と新型コロナウイルスに対する緊急対応について
第2回 令和3年 3月3日(水)	ふれあい プ ラ ザ 【書面決議】	6名	1. 共同募金配分金助成事業実績に係る助成経費等の見直しについて

◎運営委員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 6月30日 (火)	ガレリア かめおか	10名 (監事 1名を 含む)	1. 令和2年度亀岡市共同募金委員会事業計画及び予算について 2. 令和2年度共同募金配分金助成事業 団体審査・決定について 3. 亀岡市共同募金委員会 監事の選任について
第2回 令和2年 9月30日 (水)	ふれあい プ ラ ザ	9名 (監事 1名を 含む)	1. 令和2年度歳末たすけあい運動について
第3階 令和3年 3月5日(金)	ふれあい プ ラ ザ	7名	1. 令和2年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 令和3年度共同募金配分金助成事業について

2. 地域福祉推進事業

(1) くらしのサポートサービス事業

【事業趣旨】

くらしのサポートサービスは、日常生活を営むのに支障があり、何らかの理由で他の福祉サービスの利用等が困難な世帯に対し、市民の参加と協力により、非営利のボランティアな活動を基盤とした住民相互の助け合いによる福祉サービスを供給することにより、在宅福祉の充実と市民の福祉活動への積極的参加を促進することを目的とする事業です。

【支援内容】

○家事援助

- ・ 掃除（居室、風呂掃除、窓拭き等）

- ・洗濯
- ・買物
- ・調理
- ・庭の草引き
- ・入院中の病院での洗濯や買物
- ・その他

○外出同行

- ・病院、役所、買物等の外出時の付き添い

【活動実績】

○会員数

協力会員（実数） 25名（内、新規会員 2名）

利用会員（実数） 67名（ ” 12名）

○利用状況実績

- ・外出同行：受診の同行10件 買い物の同行1件
- ・家事援助：掃除52件 洗濯4件 買い物16件 調理7件 その他19件
※「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。
※ その他…草刈り等の軽作業 他。

○年度別活動実績

年 度	利用会員数（月平均）	協力会員数（月平均）	活動回数
平成30年度	35.9人	20.0人	1,357回
令和元年度	34.3人	18.5人	1,222回
令和2年度	20.9人	12.7人	686回

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症にともなう京都府への緊急事態宣言発出を受け、2回（令和2年4月24日～5月6日、令和3年1月14日～3月7日）の活動中止期間を設けました。

○協力会員研修・交流会

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、開催を見合わせました。

（2）亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

高齢者介護予防拠点事業は、運動・口腔などに係る介護予防に重点を置いた取り組みを行っており、今年度は身体と指先を動かすことにさらに力を入れた取り組みをすすめました。音楽に合わせて有酸素運動を行うことで、運動機能の向上や転倒予防に努めています。また、笑いヨガ、脳トレ・脳スケ（スケルトン）を行なうことにより脳の活性化をはかっています。高齢者の生きがいとして、集中力を高める事が出来る書道にも取り組み、健康づくりと日常動作訓練や趣味活動、レクリエーションなどの機会を提供しています。

【実施場所】

○曾我部いこいの家

毎週水曜日（年末年始・祝日を除く）

午前10時から午後3時まで

【実施内容】

健康チェック、体操、脳トレ、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家	
	活動回数 (回)	延利用人数 (人)
平成30年度	50	359
令和元年度	49	356
令和2年度	35	252

※ 協力会員の登録は5名 一日の担当は2名

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、14回開催中止としました。
(R1年4月4回、5月3回、R2年1月2回、2月4回、3月1回)

【事業成果】

定期的に通われ、運動や趣味活動に積極的に取り組まれています。自宅においても作品作りや脳トレなどに取り組まれるなど、楽しみながら覚えておく努力もされています。また来所されている皆さんと会話を楽しみ関わりを持っていただくことで、生きがいと介護予防につながっています。平成13年度のスタートから継続して参加されている利用者も多く、毎週参加が筋力や認知機能の低下防止につながっており、介護予防を目的としているこの事業の成果が表れています。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

【支援の内容】

○福祉サービス利用の支援

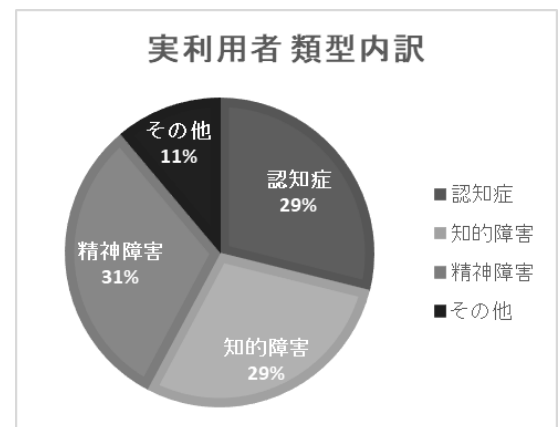
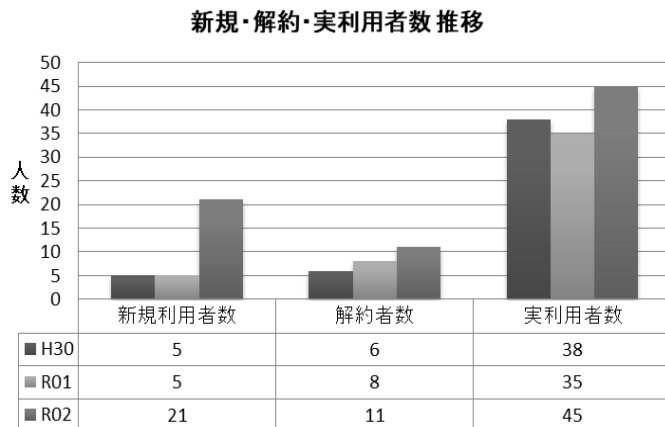
- ・福祉サービスについての情報提供
- ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
- ・福祉サービス利用料の支払い等

○日常的な金銭管理の支援

- ・年金や福祉手当などの受領手続き
- ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い
- ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
- ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
- ・その他、書類等の預かり

【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用者数 (人)	活動回数 (回)	
平成30年度	16	2	38	1,170	30
令和元年度	20	2	35	1,074	34
令和2年度	18	2	45	1,089	36



【事業成果】

近年、重層的課題を抱えた利用希望者が増加し、契約前から複数回の訪問や関係機関との連携が必要となるケースが増加しています。そのような中でも令和2年度は、利用希望者が速やかに支援につながるができるよう積極的に新規契約に取り組みました。その結果、新規契約数は21名で令和元年度と比較して16名の増加、年度末利用者数は45名で令和元年度と比較して10名の増加となり、利用希望者が適切なタイミングで支援につなされる体制を実現することができました。

支援全体では、多角的な側面から対応することができました。例えば、ある利用者の支援では、子どもの進学希望と家計状況との間で利用者は悩んでおられました。利用者とともに子どもの進学を実現できる方法を考えた結果、当協議会生活福祉資金事業担当者と連携し、教育支援資金を利用することになり、無事に子どもの進学を実現することができました。また、利用者が地域との繋がりを再構築できるよう関係機関と連携を図り、利用者が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

(4) 生活福祉資金貸付事業

【事業趣旨】

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施しました。

【資金種類別内容及び実績】

○通常貸付

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的とした貸付金ですが、特例貸付の対象からは外れるが新型コロナウイルス感染拡大の影響で就労予定が延期となった方への貸付相談支援を行い、生活再建につなげることができました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
生活支援費	3	2, 1 0 0, 0 0 0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合 計	3	2, 1 0 0, 0 0 0

② 福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
福祉費	3	3, 1 2 6, 0 0 0
緊急小口資金	1	1 0 0, 0 0 0
合 計	4	3, 2 2 6, 0 0 0

③ 教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
教育支援費	1 5	7, 0 9 4, 0 0 0
就学支度費	1 5	5, 0 2 3, 0 0 0
合 計	3 0	1 2, 1 1 7, 0 0 0

○特例貸付

① 特例緊急小口資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯を対象に少額の費用の貸付を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
緊急小口	6 5 9	1 3 0, 8 6 0, 0 0 0
合 計	6 5 9	1 3 0, 8 6 0, 0 0 0

② 特例総合支援資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)
総合支援資金(初回)	572	313,000,000
総合支援資金(延長)	395	214,250,000
総合支援資金(再貸付)	209	114,400,000
合 計	1,176	641,650,000

【事業成果】

今年度については『新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対しての特例貸付』への対応が大きなウエイトを占めました。当初は令和2年7月までの時限運用の予定でしたが、感染拡大を受け国の方針により令和3年6月まで申請期限が延長となっています。

通常分・特例分合計で1,872件（前年度比1,832件増）の申請を受け付け、7億8995万3千円（前年度比7億7319万9千円増）の決定を府社協より受け、貸付希望者の生活再建に繋がるよう支援を行いました。

相談支援の一例として、生活相談支援センターからの紹介で新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少と、元夫からのDV被害から逃れ本市に転入された母子世帯の支援を行いました。その日の食事にも困られている状況を受け、市役所人権啓発課、生活相談支援センター、スクールソーシャルワーカーと連携し、当協議会を通して特例貸付を申請すると同時にフードバンクへ繋ぎ、当面の生活費と食料を確保できるよう他機関と協働し支援を行いました。

また、本市内の中学校1校へ訪問する機会をいただき、教職員に対して教育支援資金の制度説明を実施しました。その後も当該校から相談をいただく機会が増え、世帯の経済状況から進学を断念することが無いよう細やかな支援を行いました。今年度の実績を踏まえ、今後さらに中学校・高校との連携を図っていくこととします。

（５）福祉金庫資金貸付事業

【事業趣旨】

亀岡市民であって、自立更生の意欲のある世帯及び、特に必要と認める要援護世帯などに資金を貸付け、その生活の安定と自立更生に役立たせ、社会福祉の増進を図ることを目的とし、不時の出費などによって、最低生活を脅かされる恐れのある世帯、要援護世帯など、他からその必要な資金を得ることが困難な方に対して貸付を実施しました。

【貸付および償還実績】

令和2年度貸付分		令和2年度貸付分償還額	
貸付件数	2件	償還金額	20,000円
貸付金額	40,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1年以内

※ 利 息： 無利子

【事業成果】

今年度は貸付件数・金額とも前年度とほぼ同水準となりましたが、通常貸付の決定・入金があるまでの生活費のつなぎ、援護を必要としつつも特例貸付の対象外となる世帯への緊急的対応など、相談があった際には状況をしっかりと聞き取ったうえで本資金貸付が必要と判断した世帯については、柔軟・迅速に貸付対応をしました。

(6) 亀岡市生活支援体制整備事業

【概 要】

令和2年度は、3年を1期とする第7期介護保険事業計画（平成30年度から令和2年度）最終年であり、計画で目標としていた、『小さな学習会の開催を重ね、市民が主体となって生活支援体制整備を進める理念を広げること、「通いの場」の把握、活動の担い手の発掘』について、令和元年度に開催した第1層協議体会議からの意見を踏まえ、以下について特に取組みました。

- a 実務者会議の設置
- b 市民への働きかけ、様々な団体への協働の呼びかけ
- c 圏域（エリア）ごとのカルテづくり（見える化）
- d 住民主体の醸成（ともいきラボの継続や担い手育成）

I 令和2年度の実施目標

現状における地域課題の把握、市民主体の活動主体の設置、市民への見える化の推進。

II 令和2年度の実施内容

1) 実務者会議の設置

協議体メンバーのうち、地域活動メンバーから選出された委員により、令和2年7月から定期会議を設置しました。



①構成員

大石 郁夫・小村 晴江・寺町 亜希子（生活支援コーディネーター）・久本 早美（生活支援コーディネーター／市社協）・藤本 邦雄・山本 眞之介
（敬称略）

※ 以下 生活支援コーディネーターをSCと標記することとします。

（生活支援コーディネーターとは、生活支援体制整備事業において、地域づくりを進めるために住民や多様な団体と連携づくりを進めていくコーディネーターです。）

②実施回数

令和2年7月から 月1回 会議開催（計9回実施）

開催日	内容	出席人数
令和2年7月16日(木)	実務者会議の位置づけ、全体構想	8名
令和2年8月5日(水)	実務者それぞれのプラン6W2H	8名
(令和2年8月31日(月))	(高齢福祉課・SCによる事前打ち合わせ)	4名
令和2年9月3日(水)	実務者会議、モデル事業の検討	
令和2年10月12日(月)	今ある生活支援サービス／ナルク亀岡	8名
令和2年11月2日(月)	今ある生活支援サービス／シルバー人材センター	9名
令和2年12月8日(火)	今ある生活支援サービス／倣裏会	10名

	「あゆみ安心サポート」	
令和 3 年 1 月 14 日(木)	出前講座企画「デモ講座」 ／くらし整えナース 富樫明美さん	13 名
令和 3 年 1 月 28 日(木)	(実務者・SC による意見交換会)	7 名
令和 3 年 2 月 8 日(月)	「ともいきさん」の企画最終まとめ	9 名
令和 3 年 3 月 9 日(火)	今ある生活支援サービス／亀岡市社協 「くらしのサポートサービス」「寄り添いサ ポーター活動」「傾聴ボランティア」	13 名

③具体的な活動内容

ア 過去のサービス利用者の事例によるニーズ分析（くらしのサポートサービス）
ニーズは①ご近所の何気ない対話で解決できること。②専門機関がかかわる必要のあること。③今あるサービスを紹介し組み合わせることで解決できることなど複合的であるため、④これらを整理すること、⑤それぞれの助け合い活動やサービスの連携が必要ということ、などが明らかになりました。

上記を確認した中で、①について実務者は、地域の実践者として先ず取組む必要があること及び市内の他のサービス事業者はどうなっているのかについて現状を知る必要があることを確認しました。

イ 現在ある生活支援サービスとの連携

アの活動を受け、以下の各サービスについて、現状を確認しました。

- ①（公財）シルバー人材センター
- ②（NPO）ナルク亀岡 「助け合い（時間預託）活動」
- ③（福）倣裏会 「あゆみ安心サポート」
- ④（福）亀岡市社会福祉協議会

「くらしのサポートサービス」「権利擁護」「寄り添いサポート活動」「傾聴ボランティア」

確認の結果、現状でも生活支援サービスは様々ありますが、サービスの内容や利用方法、どんな特長があるかなどを知った上で使い分けするのは、難しいことかも知れないこと。困り事のある方の相談にのり、困り事を解きほぐし、使えるサービスをアドバイスするような人が必要かもしれないということなどが明らかになりました。

また、ニーズ分析の事例の困り事の中には、誰かに話を聴いてもらうことで解決できることもたくさんあるという共通認識を得ることができました。

地域の中に、そういった役割を果たす人を増やしていくために、まずは実務者が地域で活動をはじめることとなりました。

ウ「ともいきさん」活動の創設

アのニーズ分析の中で、①ご近所の何気ない対話で解決できる課題があることを確認したことから、この対話活動として「ともいきさん」を創設しました。

【ともいきさん】活動

日々の生活の中で、住みよい地域づくりを考える視点から、困りごとの相談に乗ったり、一緒に考えるといった「ご近所さんの立場」の活動をする人を「ともいきさん」と名付け、まずは実務者が、中心となり行う活動をはじめました。

確認した生活課題は実務者会議で共有し、課題解決に向けた協議を行っていきます。

「ともいきさん」が持つ自己紹介カード

【活動目的】

- ・担い手を増やす（住民主体）
- ・地域の生活課題の抽出

【活動の注意点】

- ・「ともいきさん」は、支援者ではなく、対等の立場であることや、個人情報保護の観点を理解していることなども踏まえ、共通認識を築きながら広めていく。



エ 「ゴミ出し」に着目した関係団体との連携

地域生活課題の聞き取りの中で、どの地域でも共通して出てくるのは「足の不自由な高齢者のゴミ出しの問題」「認知症など高齢者のゴミ分別の問題」「ゴミ屋敷化した困難なケース」の問題などであることがわかったため、関係団体と連携を行いました。

- ・亀岡市環境クリーン推進課
- ・（公財）亀岡市環境事業公社

訪問日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年12月24日(木)	亀岡市環境事業公社	生活支援体制整備事業説明と、出前講座の協力依頼	4名	2名
令和3年1月22日(金)	桜塚クリーンセンター	生活支援体制整備事業説明と、出前講座について情報提供	2名	2名

オ 出前講座による地域展開

地域生活課題について、住民の中で話題にあがり話し合い等がおこっていくための市民への投げかけとして、「ゴミ出し」に着目して、出前講座の展開をおこないました。

講座テーマ「元気にくらすおうちの整え方」高齢になっても楽しく安心して暮らせる整理収納の工夫や、ゴミ出しなど関心の高い身近なテーマをきっかけとして、住民に「生活支援」について一緒に考える機会の提供をおこないました。

開催日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和3年3月2日(火)	NPO ナルク(南つつじヶ丘コミュニティセンター)	くらし整えナース／環境事業公社／市社協	ナルク 22名	市社協 3名、環境事業公社 4名、実務者 3名
令和3年3月18日(木)	オープンカフェ ひまわり(畑野健康ふれあいセンター)	くらし整えナース／環境事業公社／市社協	9名	市社協 2名、環境事業公社 3名、実務者 1名
令和3年3月18日(木)	高齢者あんしんサポートハウス 亀岡友愛園	くらし整えナース／市社協	安心サポートハウス 6名、包括 4名、緑会 2名	市社協 2名、実務者 1名

令和3年3月19日 (金)	栗掛サロン（篠町栗掛区集会所）	くらし整えナース／環境事業公社／市社協	10名	市社協2名、 環境事業公社2名
令和3年3月23日 (火)	南古世らくじゅ会（南古世集会所）	くらし整えナース／市社協	23名	市社協3名、

④実施成果

- ・住民目線で生活課題にアンテナを張る活動「ともいきさん」活動の創設（住民主体の醸成）。
- ・コロナ禍での5組限定の開催となりましたが、出前講座を実施し地域住民の生の声を聴き、地域展開をするためのきっかけとなる取組を行いました。
- ・実務者会議が関係団体連携との連携の場として機能しはじめることができました。

実務者会議風景



2) 市民への働きかけ、多様な団体への協働の呼びかけ

①実施内容

ア 住民への広報「共生のまちづくり NEWS」

- ・新型コロナ感染拡大の中での高齢者サロンの活動再開のための支援として、「共生のまちづくり NEWS」No.1、No.2、No.3を、自治会23団体、地区社協12団体、サロン団体81団体へ郵送し、民生委員児童委員協議会にも配布、またフェイスブック、ラインにより情報発信を行いました。
- ・「共生のまちづくり NEWS」No.4は、令和3年2月1日全戸回覧（組回覧）を行い、生活支援体制整備事業の「実務者会議」「ともいきさん」「出前講座」など取組を広く市民に情報発信を行いました。



イ 市民への働きかけ／担い手育成

生活支援体制整備事業を進める上で、住民相互の交流、生きがい活動や健康づくり、助け合いなど住民の主体的な活動が広がることが大切であり、主体的住民=担い手育成が重要となります。市民への働きかけとして、「亀岡市介護予防サポーター講座」において、「まちとつながる地域デビュー講座」を実施し、通いの場の事例紹介や、亀岡市における生活支援体制整備事業の取組紹介を行い、「ともいきラボ」「ともいきさん」としての活動に関心を持つ10名の方に賛同していただくことができました。

年月日（曜日）	訪問先	内容	出席者数	訪問者数
令和2年12月11日(金)	亀岡市立人権福祉センター	介護予防サポーター講座での「まちとつながる地域デビューしよう」講座の実施	37名	2名
令和3年2月9日(火)	ガレリア大広間	介護予防サポーター講座受講者で活動に興味を持たれた方の交流会	コロナで中止	0名

ウ 関係団体/関係機関との連携

関係団体・機関名	連携内容	回数
地域包括支援センター	・R2.6.19 地域包括支援センター長会議出席 ・R2.11.27 ともいきラボ実務者交流会での情報共有 ・「地域カルテ」作成協力依頼	2回
民生委員児童委員協議会	・R2.9～11月定例会等へ参加の上、事業説明実施。連携構築のための訪問。	8回
亀岡市環境クリーン推進課	・情報共有、生活支援サービスに係る相互理解。実務者会議への出席など	1回
(公財)亀岡市環境事業公社	・情報共有、生活支援サービスに係る相互理解。実務者会議への出席など	5回
(公財)シルバー人材センター	・情報共有、生活支援サービスに係る相互理解。実務者会議への出席など	5回
(福)倣裏会	・情報共有、生活支援サービスに係る相互理解。実務者会議への出席など	2回
(NPO)ナルク亀岡	・情報共有、生活支援サービスに係る相互理解。実務者会議への出席など	3回
市民活動推進センター	・情報共有、地域での支え合いやボランティアによる生活支援活動についての相互理解。	1回
各地区社会福祉協議会	・「地域カルテ」作成協力依頼 ・地域の居場所やサロン活動への保健師同行による相談支援の実施。	36回
各町自治会	・各自治会を訪問し、情報共有、地域情報の聞き取りを実施 ・「地域カルテ」作成協力依頼	23回
亀岡市介護予防サポーター講座参加者	・「地域デビューしよう講座」の実施し、本事業における取組等について情報発信	1回
NPO 共生ケアかめっこの会「寄って亭」	居場所活動の見学のため訪問	1回



民生委員児童委員協議会定例会



NPO ナルク亀岡



介護予防サポーター講座

(内訳)

地域包括支援センター

年月日（曜日）	行事名	内容	出席人数	訪問者数
令和2年6月19日(金)	地域包括支援センター長会議（市役所）	生活支援体制整備事業説明	9名	1名
令和2年11月27日(金)	ともいきラボ実務者交流会（ガレリア響ホール）	地域包括支援センターへ参加要請事業説明および地域情報の共有、	23名	3名

民生委員児童委員協議会

訪問日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年8月27日(木)	民児協会長会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	12名	2名
令和2年9月1日(火)	南部民児協定例会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	21名	3名
令和2年9月3日(木)	篠地区民児協定例会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	31名	2名
令和2年9月7日(月)	亀岡地区民児協役員会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	11名	2名
令和2年9月10日(木)	中部地区民児協定例会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	36名	3名
令和2年10月5日(月)	川東地区民児協定例会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	23名	6名
令和2年10月9日(金)	つつじヶ丘地区民児協定例会	生活支援体制整備事業説明と協力依頼	22名	5名
令和2年11月15日(日)	篠地区民児協研修	連携強化のための訪問	32名	1名

(公財) シルバー人材センター

訪問日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年10月12日(月)	シルバー人材センター	生活支援体制整備事業説明	2名	3名
令和2年10月28日(水)	シルバー人材センター	生活支援体制整備事業実務者会議について追加説明	2名	2名

ナルク亀岡

訪問日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年10月27日(火)	ナルク亀岡	運営委員会への生活支援体制整備事業説明	14名	2名
令和2年12月14日(月)	ナルク亀岡	出前講座の受け入れ、打ち合わせ	3名	2名

その他の支援団体 共生ケアかめっこの会「寄って亭」

訪問日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年11月9日 (月)	寄って亭	居場所活動の見学のため訪問	9名	1名

②実施成果

- ・市民への生活支援体制整備事業の情報発信及び関係機関・団体等への訪問による事業説明および意見交換により、事業を理解し、賛同する人や団体が増加しました。
 - ・生活課題の協議から連携して、実務者会議への参加につなげることができました。
- 参加した団体：(公財) シルバー人材センター、(NP0) ナルク亀岡、(福) 倣裏会、
(公財) 亀岡市環境事業公社、(公財) 京都 SKY センター
かめおか市民活動推進センター

3) 地域カルテの作成

23町ごとに地域情報を収集し、地域の姿や住民の活動を見える化～

①実施内容

各自治会・地域包括支援センター、地区社協、地域サロン等を訪問、聞き取りを行い、地域特性、強みなどを一覧にした票(地域カルテ)の作成を行いました。



ア 聞き取り内容

- ・地域ビジョン(地域課題をどう考え、どのような地域をめざしているか)
- ・地域で活動している団体とその活動内容※
- ・自治会の事業内容や協力団体等
- ・住民の日常生活にかかる環境、交通、商店、学校、公民館、金融機関、文化的資源等

※各種関係団体・関係機関との連携をもとに、各地域情報の聞き取りを実施。

イ 聞き取りからわかったこと

- ・旧村からの住民が多く住民のつながりが強い地域より、40年程前に建設された新興住宅地はつながりも浅く、高齢化で課題が表面化し、コロナ禍での活動自粛の影響を大きく受けていること。
- ・高齢化からくる生活課題解決に向け、取組を始めている町(自治会)があること。
- ・自治会の活動も様々であること。(行政事務を主とするところもあれば、福祉的な専門部を設置し、取り組んでいる所もあること)
- ・少子高齢化対策として、「移住者促進」に取り組む地域も増えていること。

年月日(曜日)	訪問先	内容	対応者数	訪問者数
令和2年11月11日 (水)	曽我部町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1名	1名
令和2年11月13日 (金)	篠町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1名	1名
令和2年11月17日	東本梅町自治会	地域情報や地域課題	1名	2名

(火)		題の聞き取り		
令和 2 年 11 月 18 日 (水)	大井町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 2 年 11 月 18 日 (水)	吉川町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	3 名	2 名
令和 2 年 11 月 18 日 (水)	曾我部町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 2 年 12 月 2 日 (水)	河原林町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	2 名	1 名
令和 2 年 12 月 2 日 (水)	保津町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	2 名	1 名
令和 2 年 12 月 7 日 (月)	本梅町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	2 名	3 名
令和 2 年 12 月 8 日 (火)	河原林町自治会	地域カルテについて追加説明	2 名	2 名
令和 2 年 12 月 9 日 (水)	萩田野町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 2 年 12 月 23 日 (水)	畑野町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 1 月 25 日 (月)	旭町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 1 月 25 日 (月)	馬路町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 1 月 26 日 (火)	亀岡地区中部自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	1 名
令和 3 年 1 月 27 日 (水)	亀岡地区西部自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 1 月 28 日 (木)	亀岡地区東部自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 2 月 1 日 (月)	西別院町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 2 月 3 日 (水)	東別院町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	4 名	2 名
令和 3 年 2 月 5 日 (金)	西つつじヶ丘自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	5 名	2 名
令和 3 年 2 月 9 日 (火)	千代川町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	3 名
令和 3 年 2 月 10 日 (水)	千歳町自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	3 名
令和 3 年 2 月 16 日 (火)	東つつじヶ丘自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名
令和 3 年 2 月 17 日 (水)	南つつじヶ丘自治会	地域情報や地域課題の聞き取り	1 名	2 名

②実施成果

- ・上記聞き取り内容を踏まえ、23町の地域カルテを完成。
- ・地域についてのビジョンや自治会事業活動、地域活動団体についての聞き取りを行う中で、行政からの委託事務を主に活動する自治会もある一方、独自のまちづくりを進めている地域や、自治会は行政事務を主におこない、地域活動は地区社協など別団体が行うなど役割分担をおこなっている地域、自主防災組織が地域の福祉課題

にもかかわっている、ハード面のまちづくりに関心が高い地域、自治会が地域の生活課題に直接取り組む地域等、それぞれの町の課題意識にしたがって活動を積極的にすすめてところがあるなど多様な形があることがわかりました。

4) ともいきラボの継続

ともいきラボは、平成31年3月に開催した「おだやかな革命」というドキュメンタリー映画のワークショップを契機として集まった住民をメンバーに「住みたいまち」を模索し「あったらいいな」を楽しみながら形にしていく実験的な場（ワークショップ）で、令和元年度の取り組みとして住民主体の醸成を目的として連続開催しました。



①実施内容

- ・コロナ禍において、集まる活動が出来なくなり、「ともいきラボ」で活動をしてきた3つのグループの地域での活動展開も延期となりました。
- ・ラボメンバーへは定期的にメールを出し、「ともいきのまちづくり」活動の継続のための働きかけを行いました。

開催日	訪問先	内容	出席人数	訪問者数
令和2年6月27日(土)	ガレリアかめおか 日本庭園付近芝生ひろば	グループの一つが集まり意見交換会を実施	7名	2名
令和2年11月27日(金)	ガレリアかめおか響ホール	ともいきラボ実務者交流会」を開催	19名	2名



令和2年6月27日



令和2年11月27日

②成果

- ・ともいきのまちづくりへの参加意識の継続の確認
- ・「ともいきさん」活動の合意形成
- ・地域包括支援センターとの活動内容の共有

5) 生活支援コーディネーターとしての地域での活動や研修その他

① 住民による通いの場・ふれあいサロン等への活動継続支援 25回

新型コロナ感染拡大の中、活動停止となった高齢者ふれあいサロンの再開支援のために、保健師同行による出張相談の取組をおこないました。

訪問日	訪問先	内容	対象人数	訪問人数
令和 2 年 6 月 9 日 (火)	べついんいきいきサロン	保健師同行出張相談	4 名	4 名
令和 2 年 6 月 10 日 (水)	東つつじヶ丘社協	保健師同行出張相談	7 名	4 名
令和 2 年 6 月 16 日 (火)	高齢福祉課・健康増進課保健師・市社協によるすり合わせ	保健師同行による出張相談のすり合わせ	4 名	2 名
令和 2 年 6 月 23 日 (火)	ちとせさわやか健康センター	保健師同行出張相談	4 名	3 名
令和 2 年 6 月 29 日 (月)	千代川町しょうらくの会	保健師同行出張相談	6 名	4 名
令和 2 年 7 月 3 日 (金)	ほっと美山	保健師同行出張相談	4 名	4 名
令和 2 年 7 月 10 日 (金)	亀岡地区東部社協	保健師同行出張相談	3 名	3 名
令和 2 年 7 月 15 日 (水)	篠町山本地区	保健師同行出張相談	6 名	3 名
令和 2 年 7 月 16 日 (木)	馬路ふれあいサロン	保健師同行出張相談	10 名	4 名
令和 2 年 7 月 20 日 (月)	京町ほのぼのサロン	保健師同行出張相談	2 名	3 名
令和 2 年 7 月 30 日 (木)	第五見晴地区遊快クラブ	保健師同行出張相談	3 名	4 名
令和 2 年 8 月 4 日 (火)	歌声広場あさひ	保健師同行出張相談	4 名	3 名
令和 2 年 8 月 18 日 (火)	篠町第 7 見晴友の会	保健師同行出張相談	3 名	3 名
令和 2 年 9 月 11 日 (金)	亀岡地区民児協	保健師同行出張相談	3 名	4 名
令和 2 年 9 月 16 日 (水)	吉川地区社協 ふれあいサロン	保健師同行出張相談	4 名	4 名
令和 2 年 9 月 18 日 (金)	千歳町国分 ふれあいサロン会	保健師同行出張相談	2 名	2 名
令和 2 年 9 月 23 日 (水)	篠町栗掛サロン	保健師同行出張相談	5 名	4 名
令和 2 年 9 月 29 日 (火)	東本梅自治会	保健師同行出張相談	6 名	4 名
令和 2 年 9 月 30 日 (水)	湯ノ花平区 ゆずり葉会	保健師同行出張相談	7 名	2 名
令和 2 年 10 月 14 日 (水)	ふれあいカフェ (内丸町)	保健師同行出張相談	1 名	3 名
令和 2 年 10 月 26 日 (月)	中矢田ふれあいサロン	保健師同行出張相談	4 名	2 名
令和 2 年 10 月 27 日 (火)	大井町文化振興会 (かすみヶ丘)	保健師同行出張相談	6 名	2 名
令和 2 年 10 月 27 日 (火)	大井町文化振興会 (サニータウン)	保健師同行出張相談	5 名	2 名

令和2年10月27日 (火)	大井町文化振興会（並河）	保健師同行出張相談	6名	2名
令和2年10月27日 (火)	大井町文化振興会（小金岐）	保健師同行出張相談	4名	2名
令和2年11月5日 (木)	南つつじヶ丘地区社協	保健師同行出張相談	2名	2名

② 各町自治会との連携、地域の住民団体による活動の調査

各町自治会へ連携強化のための訪問および、地域活動団体等が地域課題解決のために現在行っている取組について聞き取りをおこないました。

年月日（曜日）	訪問先	内容	対応者人数	訪問者数
令和2年4月15日 (水)	亀岡地区中部自治会 亀岡地区東部自治会 亀岡地区西部自治会	自治会への SC 就任の挨拶	2名 1名 2名	2名
令和2年4月16日 (木)	千歳町自治会 旭町自治会 河原林町自治会 馬路町自治会 保津町自治会	自治会への SC 就任の挨拶	1名 2名 2名 1名 1名	2名
令和2年4月17日 (金)	蕨田野町自治会 宮前町自治会 東本梅町自治会 畑野町自治会 本梅町自治会 大井町自治会 千代川町自治会 曾我部町自治会	自治会への SC 就任の挨拶	1名 1名 1名 1名 2名 1名 1名 1名	2名
令和2年4月20日 (月)	篠町自治会 東つつじヶ丘自治会 南つつじヶ丘自治会 西つつじヶ丘自治会	自治会への SC 就任の挨拶	1名 2名 1名 1名	2名
令和2年4月22日 (水)	東別院自治会 西別院自治会	（電話挨拶） 自治会への SC 就任の挨拶	1名 1名	2名
令和2年5月18日 (月)	馬路町自治会 旭町自治会 千歳町自治会 河原林町自治会	自治会への SC 挨拶 地域カルテ協力 依頼	1名 1名 1名 2名	1名
令和2年5月18日 (月)	人権交流センター	子どもランチ支援	7名	3名
令和2年8月4日 (火)	亀岡おたがいさまプロジェクト	活動内容の聞き取り	2名	2名
令和2年10月14日 (水)	大井町文化振興会	会議への参加、 活動内容の聞き取り	12名	2名
令和2年12月9日 (水)	河原林町まちづくり	活動内容の聞き取り	1名	2名

③ 研修その他

研修

年月日（曜日）	訪問先	内容	参加者数
令和2年10月6日(火)	京都府医師会館	生活支援コーディネーター養成講座	1名

地域ケア個別会議

年月日（曜日）	訪問先	内容	参加者数
令和2年12月15日(火)	市社協相談室 2 ZOOM	地域ケア個別会議 ICFの手法によるケース検討	2名
令和3年2月25日(木)	市社協相談室 2 ZOOM	地域ケア個別会議 地域包括支援センターからの事例による多職種によるケース検討	2名
令和3年3月25日(木)	市社協相談室 2 ZOOM	地域ケア個別会議 地域包括支援センターからの事例による多職種によるケース検討	1名 + (自宅から1名)

6) 市および生活支援コーディネーターとの事務連絡会議「SC定例会」の開催

① 実施内容

年月日（曜日）	訪問先	内容	参加者数
令和2年4月10日(金)	市社協世代間交流室	本年度の計画協議、地域カルテ他、アプローチ方法や手段など	5名
令和2年5月7日(木)	市役所8F	高齢福祉課、市社協、SCによる「SC定例会のすり合わせ」	4名
令和2年5月21日(木)	市社協相談室3	何をを目指すのか、目標の意識合わせ 地域カルテの内容について	5名
令和2年5月29日(金)	市役所201会議室	B型作り出しに向けての検討	5名
令和2年6月11日(木)	市社協相談室3	コロナ禍での通いの場の再開支援について、サービスの創り出しについて	5名
令和2年6月25日(木)	市社協相談室3	2025年までの目指すもの、基本理念について、実務者会議について	5名
令和2年7月10日(金)	市社協相談室3	生活支援体制整備事業広報について、実務者会議の内容について	5名
令和2年7月28日(火)	市社協相談室3	実務者会議の振り返りと、次回の内容について	5名
令和2年8月17日(月)	市社協相談室3	市社協、SCによる臨時の打ち合わせ	3名
令和2年8月26日(水)	市社協相談室3	実務者会議について、地域カルテ進行状況、民児協との連携について	5名
令和2年9月25日(金)	市社協相談室3	実務者会議について、地域カルテ進行状況、各種団体との連携について	4名
令和2年10月22日(木)	市社協相談室3	仮称「おせっかいさん」の創出準備 ともいきラボへの働きかけ	5名
令和2年11月19日(木)	市社協世代間交流室	ともいきラボ・実務者交流会の準備、来年度の進め方について	5名

令和2年12月24日(木)	市社協世代間交流室	介護予防サポーター講座の内容検討、出前講座の内容について	5名
令和3年1月21日(木)	市社協世代間交流室	第1層協議体会議の内容について ともいき交流会 2/9 の検討	5名
令和3年2月25日(木)	市社協世代間交流室	出前講座の最終確認 地域包括支援センターとの連携	5名
令和3年3月25日(木)	市社協世代間交流室	本年度の総括と、来年度の展開について	5名

7) 第1層協議体会議の開催

① 実施内容

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催を取りやめ、書面会議として開催をおこないました。委員により書面確認の結果、以下の取組（案）が承認されました。

ア、全自治会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、実務者会議、生活支援コーディネーターが地域カルテについて協議を行い、地域課題の共有及び圏域課題を抽出すること。

イ、アを踏まえた関係者間のネットワークを構築すること。

エ、年間2回以上の広報紙発行及び定期的なウェブでの情報発信を行うこと。

オ、必要な担い手を発掘すること。

また、委員からの意見として、情報発信の重要性、今後地域を担っていく若い世代の意見も取り入れられる場を設けることの提案や、地区社協や各地域の老人クラブ等の意見を聴き活かしていく必要性、第8期の期間中に、第2層協議体の設置をめざすべきなど意見がだされました。

III 令和2年度の取組結果

令和2年度は、第7期介護保険事業計画で掲げていた目標のうち、昨年度協議体で意見をいただいた、**a 実務者会議の設置**（市民主体の生活支援体制整備）、**b 市民への働きかけ、様々な団体への協働の呼びかけ、c 圏域（エリア）ごとのカルテづくり（見える化）**については積極的に取組むことが出来ました。

しかし、令和2年1月から国内でも感染が拡大した、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集合形態での研修、ワークショップ及び地域での説明会や人の集まる機会を持つことが出来ず、**d 住民主体醸成**については、「通いの場」へ再開に向けてのコロナ感染予防対策等の支援を行うにとどまり、ともいきラボ（ワークショップ）の継続、活動の担い手の発掘は十分に取組むことが出来ていない結果となりました。

実務者会議では、住民の生活課題の分析を通じて、関係団体とも連携をとることができました。また「ともいきさん」という活動を展開していくことにより、初期の段階の困り事を解決する仕組みと、地域課題を把握する仕組みを創出することができ、来年度以降の地域での具体的な展開方法を明らかにすることができました。

市民への働きかけでは、コロナ禍で大規模のフォーラム等ができない中でも、高齢者の活躍の場をひろげるということにおいては、介護予防サポーター講座で特別講座をおこない、昨年度立ち上がった TUNAGOTETOTE と協力し、担い手を増やすための講座を開催することができました。また、「出前講座」「ともいき

交流会」「地域訪問」などの取組から、生活支援体制整備事業に賛同し、「ともいきさん」としての活動意思を表明するなど、それぞれの分野での協働がひろがりつつあります。

圏域ごとのカルテづくりについては、本年度は町別に自治会を中心に聞き取りにより情報を集め、「町別地域データ BOOK（地域カルテ）」を作成した。各町を訪問し、自治会や地区社会福祉協議会や地域活動者からの聞き取りを行い、地域情報の見える化に取り組み、地域資源の一定の把握を行い、地域関係者への「生活支援体制整備事業」についての周知を行うことができました。高齢化社会を想定してのまちづくりやささえあい活動についての考え、地域での住民の活動状況を聞き取る活動からは、町ごとに、高齢化や年少人口の減少や、移住者転出者の増減も違い、危機感や感じ方に非常に温度差があることがわかりました。町として取り組みがあるところとは今後も連携を図り、住民相互の助け合い活動の芽を育てて行きながら今後も引き続き、地域からの情報収集につとめ地域カルテの充実に取り組んでいくこととします。

また地域での聞き取りからは、地域活動やボランティア活動に参加している住民にいろいろな活動が集中する一方、退職したばかりの方や女性の前期高齢者には、なんらかの活動をしたいという潜在的な思いをもっている方が一定数おられるが、その力を生かせていない、効果的な情報提供や働きかけが行えていない現実もあり、就労的な活動やボランティアなどの機会や情報の提供や、担い手を必要としている場とのマッチングなどが必要ではないかという声が聞かれました。

生活支援コーディネーターとして、自治会や民生委員児童委員協議会、(公財)シルバー人材センター、(公財)環境事業公社、市民活動推進センター、地域包括支援センター等との協議の場を設け、生活支援体制整備事業の目的や役割について共通理解を図ることができました。

通いの場への支援として、新型コロナウイルス感染拡大の中、地域の高齢者サロンが全面休止となる中、コロナ禍でも安心して開催できる新しい形を一緒に考えていく支援として、市の保健師と協力し、出張相談を行いました。また「ともいき NEWS」の発行を通じ情報提供をするとともに、高齢者サロンとの連携をとりながら活動を守るための働きかけを行いました。

・**住民主体による生活支援サービス**については、立ち上げ支援を念頭におきながら地域にはいり対話や聞き取りをおこなってきました。サロン活動の立ち上げや、対象を限定しない移動支援サービスについては一部関心の高い地域（旭町、宮前町）がいくつかあり、情報収集をしながら連携づくりをおこなっているところです。今後も各地域の情報をあつめながら、状況の変化やニーズの高まり、住民意識を把握しながら対応をしていくこととします。

IV 今後の課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中において、地域課題の把握、把握した課題の共有の為の情報共有の会議や地域懇談会・学習会などの開催などが難しくなっています。

第1層（全市レベル）において、住民や関係団体と地域課題やそれをささえる仕組みづくりの議論を進めてきていますが、第3期（令和3～5年）においては、第2層協議体（日常生活圏域レベル）の設置をすすめるために、地域での活動展開を具体的に進める段階となります。まずは、日常生活圏域での住民や事業所・関係団体等と地域カルテを素材にして地域生活課題の議論を深める「つながり会議」など小さな懇談の場の取組をいくつも開催し、「共生のまちづくり」に賛同する住民・関係団体を増やししながら、地域における、「地域課題についての共通認識を育む懇談の場」の開催（創出）にむけて事業展開を行います。

（7）福祉生活課題解消支援事業

I 講演会

「老いる前の整理始めます」と題し、想定外の心身の衰えや生活環境の変化、地域での関係性の中で誰にでも起こりうるという理解から、地域でつながりながら健康で安全に暮らせる生活について、考える機会として講演会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染に係る緊急事態宣言の発出を受けて中止とし、令和3年度に開催することとします。

II 社会参加支援事業

当事者からの希望もあり、京都府の「ひきこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金」と法人の福祉基金の一部を利用して9月から社会参加支援事業居場所『秋桜』を開始することができました。

スモールステップとして、自宅から定期的に外出する機会や家族以外の人との会話や共同作業をする機会を持つてもらうことができました。（年7回実施、延40人参加）

（8）社会的孤立防止対策事業

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを構築し、地域福祉の推進を行うこと、また、社会的孤立が危ぶまれる人の「発見」、発見された人を適切な機関に「つなげる」、またはどこにもつながらない人や地域との関わりを拒否している人などを「見守る」ためのシステム（ネットワーク）づくりを目的として事業を実施しました。

I 地域福祉コミュニティ推進のための事業

1) 地区社会福祉協議会の推進及び支援

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等、各地区の活動への支援を積極的に行いました。

2) 各地域の住民向け、サロン参加者など、小さい単位での地域活動に出向き、孤立しがちな高齢者や、災害時の要配慮者への理解を求める講座を開催しました。また、福祉出前講座として、見守り通報活動等への協力を求めました。（講座回数4回、前年度：-5回）

3) 地域サロン活動の推進

亀岡市内において、各地域でサロン活動が広がりをみせており、訪問し開催方法

や内容について支援を行いました。(訪問回数 12 回、前年度比：-17 回)

地域福祉コミュニティ推進のための事業		
地区社協の推進、出前講座		
日時	内容	場所・参加人数
令和2年10月10日 (土) 13:20～14:00	京町ほのぼのサロン	京町会議所 9名
令和2年12月21日(月) 14:00～16:30	京都ジョブパーク認知症サ ポーター養成講座	亀岡市役所市民ホール 29名
令和3年3月13日(土) 13:00～14:00	京町ほのぼのサロン	京町会議所 12名
令和3年3月21日(日) 10:30～13:00	亀岡わかくさねっと「公開勉 強会」	安町ホーム 8名
地域サロン活動の推進		
日時	内容	
年間を通して随時訪問	【各地域のサロン活動訪問】 ※訪問することで活動内容の把握、活動者や利用者の声を 聴き、活動推進の参考にしている。 亀岡市内の各サロン訪問12件 保健師と出張相談35件（亀岡市健康増進課の保健師との連 携） 非接触体温計貸し出し事業56件 アルコール消毒液配布事業41件	
小地域福祉活動の推進(地域ひとつなぎ事業) 京都府社会福祉協議会の助成金		
申請団体	内訳	
14団体	自治会5地区 地区社協5地区 その他の団体4団体	

II 地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くなっています。相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら、解決に向け取り組みました。その他、電話による状況確認、訪問など、継続的でさりげない見守り等も行いました。

(相談件数 111 件、対応回数 199 回、前年度比：相談件数+54 件、対応件数+110 回)

地域の共助の取組及び孤立防止対策のための相談支援事業総合相談		
日時	内容	人数
年間を通して随時受付	・ ひきこもり ・ ゴミ屋敷 ・ 身近な困りごとなど	相談件数 111 件 対応回数 199 回

Ⅲ 見守りサポーターの養成・活動充実

要配慮者の見守り支援を行うサポーター（社協寄り添いサポーター）の養成と活動充実。定例会において、活動内容や対応等について意見交換や情報共有を行う中で、実施要綱についても実情に応じた活動しやすい形に変更をしました。また、広報にも注力し、関係機関への周知（紹介、説明等）、マッチング、訪問活動を行いました。活動は1件、8回の対応でした。（前年度比：-1件、+1回）

見守りサポーターの養成		
日時	内容	場所・参加人数
令和2年7月1日(水) 10:00～11:45	第1回 定例会議	ギャラリーかめおか2階研修室 6名
令和2年7月16日(木) 10:00～11:15	訪問活動	2名
令和2年8月20日(木) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和2年9月17日(木) 10:00～11:15	訪問活動	2名
令和2年10月28日 (水) 10:00～12:00	第2回 定例会議	ふれあいプラザ世代間交流 室 2名
令和2年11月19日 (木) 10:00～11:15	訪問活動	2名
令和2年12月17日 (木) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和3年2月18日(木) 10:00～11:00	訪問活動	2名
令和3年3月18日(木) 10:00～11:00	訪問活動	2名

Ⅳ 青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

- 1) 見守りの対象者となりがたい人への支援として、ひきこもり家族教室の開催
（年3回実施、参加人数のべ20名、前年度比：-2回、-12名）
- 2) ひきこもりがちな方が安心して出かけられる居場所の一つとして社協内に一室設け、個別相談等の対応を行いました。（3名、対応回数20回）また、ひきこもり状態にある方の社会参加支援事業としての居場所『秋桜(コスモス)』も開催することができました。（年7回実施、参加人数のべ40人）
- 3) 福祉関係、教育関係など、支援機関同士のつながりを目的とした「絆HUB会議」や「絆ネットワーク会議」の開催など、支援強化のための連携体制に努めました。
- 4) 相談窓口周知のため、広報やチラシの全戸回覧、公式LINEの開設を行うとともに

亀岡市内の商店や自治会にひきこもり相談カードの配付を行いました。併せて、ひきこもりにかかる相談支援の強化・拡充を行っているところです。（LINE 配信 8 回）

総合相談窓口での、ひきこもりに関する相談対応は 14 件 29 回でした。（前年度比：+6 件）

青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業 ひきこもりに係る相談支援の強化・ひきこもり教室などの支援事業の実施		
日時	内容	場所・参加人数
令和 2 年 8 月 22 日 (土) 13 : 30 ~ 15 : 00	第 1 回家族教室 「脱ひきこもりセンター講演」	ガレリアかめおか研修室 10 名
令和 2 年 9 月 10 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 00	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』①	寄って亭 7 名
令和 2 年 10 月 8 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 00	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』②	寄って亭 3 名
令和 2 年 10 月 23 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 30	第 2 回家族教室 「パステルアート」	ガレリアかめおか工作室 5 名
令和 2 年 11 月 12 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 00	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』③	寄って亭 7 名
令和 2 年 12 月 10 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 30	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』④	寄って亭 5 名
令和 2 年 12 月 25 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 30	第 3 回家族教室 「苔玉作り」	ふれあいプラザ世代間交流室 5 名
令和 3 年 1 月 14 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 30	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』⑤	寄って亭 5 名
令和 3 年 2 月 11 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 00	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』⑥	寄って亭 7 名
令和 3 年 3 月 11 日 (木) 11 : 00 ~ 15 : 00	社会参加支援事業居場所『秋桜(コスモス)』	寄って亭 6 名
	内容	
年間を通して随時	ひきこもり相談カードの配布 家族教室の案内 (LINE) 配信	亀岡市内の商店 (予定 55 件) 年 8 回
各支援機関との連携推進		
令和 2 年 4 月 23 日 (木) 10 : 30 ~ 12 : 30	第 1 回絆 HUB 会議	学びの森 8 名
令和 2 年 6 月 4 日 (木) 10 : 30 ~ 12 : 00	第 2 回絆 HUB 会議	学びの森 7 名
令和 2 年 8 月 6 日 (木) 10 : 30 ~ 12 : 30	第 3 回絆 HUB 会議	学びの森 7 名

令和2年9月24日(木) 10:00~12:30	第9回なんたん絆ネットワーク会議	南丹広域振興局(亀岡)
令和2年10月1日(木) 10:30~12:30	第4回絆HUB会議	学びの森 7名
令和2年10月10日 (土) 13:20~14:00	京町ほのぼのサロン	京町会議所 13名
令和2年10月24日 (土) 13:00~16:15	第34回なんたんラウンドテーブル	学びの森 10名
令和2年11月13日 (金) 13:20~14:00	亀岡市地域福祉関係者会議	亀岡市役所別館会議室 17名
令和2年11月24日 (火) 14:00~16:40	第1回絆ネット・見守りネットワーク活動連絡会	ふれあいプラザ相談室2 (ZOOM会議) 8名
令和2年12月3日(木) 10:30~12:30	第5回絆HUB会議	世代間交流室 6名
令和2年12月18日 (金) 15:00~16:30	地域福祉課題別研修Ⅱ	ふれあいプラザ相談室2
令和2年12月23日 (水) 15:00~16:30	生活支援コーディネーター・地域福祉担当者合同会議	ふれあいプラザ相談室2 (ZOOM会議)
令和3年1月18日(月) 14:00~16:00	ひきこもり支援対応強化研修	ガレリアかめおか2階七谷 10名
令和3年2月2日(火) 13:30~16:00	第2回絆ネット・見守りネットワーク活動連絡会	ふれあいプラザ相談室2 (ZOOM会議) 8名
令和3年2月4日(木) 10:30~12:30	第6回絆HUB会議	学びの森 5名

V 対応した要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月に一回、市と社協の担当者で会議を行い、事業の進行状況の確認と、情報共有、個別ケースについて話し合いを行ったほか、必要に応じ、包括、民生委員等の連携機関を含むケース検討会も実施しました。

亀岡市・市社協定例会		
日時	内容	場所・参加人数
令和2年5月28日(木) 9:30~11:00	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 8名
令和2年6月22日(月) 9:30~10:10	亀岡市地域福祉課との定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名

令和2年7月20日(月) 9:30~10:15	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 5名
令和2年8月24日(月) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和2年9月25日(金) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和2年10月21日 (水)9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 4名
令和2年11月19日 (木)9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和2年12月14日 (月)9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 2名
令和3年1月21日(木) 9:30~10:30	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和3年2月17日(水) 9:30~10:15	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 3名
令和3年3月23日(火) 9:30~10:20	亀岡市地域福祉課との 定例会議	亀岡市社会福祉協議会 6名

VI 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業
新型コロナウイルスの影響の為、活動を自粛されたサロン等に対して、亀岡市の保健師と連携し出張相談を実施しました。(35件)

出張相談で聞き取ったニーズを基に、アルコール消毒液の配付事業(41団体)、非接触型体温計の貸し出し事業(56件)、サロン対象の広報誌の発行(年5回)を行いました。

地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業		
日時	内容	場所・参加人数
令和2年9月29日(火) 13:30~15:00	「HOZUBAG 製造工場」見学説明会	HOZUBAG 製造工場 3名
令和3年1月13日(水) 10:30~11:30	Lコネクト業務連携会議	ふれあいプラザ相談室3 4名
令和3年2月9日(火) 13:30~16:00	きょうと地域福祉活動実践交流会	ZOOM 会議 7名
令和3年2月12日(金) 13:30~15:30	コロナ禍でのサロン活動支援	27名
令和3年3月7日(日) 14:00~16:00	エンジェルスマイル21 総会	

VII その他地域福祉の推進を図るために必要となる事業

当事者団体への支援として事務局を担うことにより、当事者同士のつながりづくり等の事業に関わりました。

- ・ 亀岡市老人クラブ連合会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
- ・ 亀岡市母子寡婦福祉会

・ 亀岡市障害児者を守る協議会

【事業成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な地域活動が中止になったことで、サロンスタッフや参加者のモチベーションが下がり、精神的・身体的機能低下防止のため亀岡市健康増進課保健師と連携し、依頼団体へ感染防止策や安心して活動に参加できる方法についての相談支援を行うなど、新しい生活様式の中でできることを考えることができました。

相談窓口の広報・周知を行ったことで、相談件数も増加傾向にあります。また、他機関と情報交換や連携を行う中で、継続相談対応者の中には、少額ながら収入を得ることにつながった事例もありました。

(9) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ ベッド貸出 29件（令和元年度 31件）
- ・ 車イス貸出 105件（令和元年度 155件）

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○貸出実績

(単位：回)

用 品	サロン	子ども会	自治会・ 地区社協	福祉施設	福祉協力校 (体験学習)	その他	合 計
安全ボーリングセット	1			2		1	4
輪投げセット	1			2			3
マグダーツ	1						1
バスケットビンゴ				1			1
お手玉ボード	1	1		1			3
ターゲットゲーム		1					1
カーリンコン						1	1
室内グラウンドゴルフ							0
ボッチャ					2		2
ブラインドボール					2		2
たいこ相撲	1						1
ジャンボトランプ		1				1	2
オセロ							0
古里かるた	1						1
江戸いろはかるた							0
ジャンボサイコロ	1			1		1	3
ドレミパイプセット							0
デジタルビンゴ						1	1
ビンゴ（手動）							0
ミュージックベル	4						4
サンタ衣装	1						1
クリスマスツリー							0

用 品	サロン	子ども 会	自治 会・地区 社協	福祉施 設	福祉協力校 (体験学習)	その他	合 計
着ぐるみ							0
プロジェクター	2					2	4
ケーブル							0
スクリーン						1	1
DVDプレーヤー							0
マイクスタンド							0
マイクアンプ (スピーカー)						2	2
マイク						2	2
ポップコーン機							0
綿菓子機				1			1
きね						1	1
うす						1	1
もち切り器						1	1
蒸し器・蒸し布						1	1
ざる						1	1
もち箱						1	1
募金箱置型							0
募金箱手持型							0
展示パネル							0
紅白幕							0
テント							0
イス							0
机							0
車椅子用スロープ (大)						1	1
車椅子用スロープ (小)							0
高齢者体験グッズ					1		1
車椅子(体験学習用)					10		10
アイマスク					5		5
白杖					5		5
視覚体験 ゴーグル					2		2
点字器					2		2
DVD (福祉体験用)					16		16
DVD (なんたん元気づくり体操他)							0
その他						1	1
合 計	14	3	0	8	45	20	90

3. ボランティア活動支援事業

(1) ボランティアセンター運営事業

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。

＜ボランティアセンター登録数＞

- ・個人ボランティア 19名（令和2年度登録数）
- ・ボランティアグループ 34グループ

① ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援

ボランティアセンター登録グループを紹介したチラシを年2回発行し、全戸回覧を行いました。回覧後は登録を希望されるグループや、グループに所属を希望する方が増えました。

② ボランティアグループ運営相談・助成金相談

常時運営相談や助成金申請の相談支援を行っています。

③ 集めて送るボランティア・ボランティア活動の推進

市民の方から寄せられた使用済み切手、プリペイドカード、書き損じはがきを、活動内容を事前に確認の上で、環境保護団体やハンディキャップのある子ども達を支援している団体に支援として適時送っています。

令和2年度、約84,000個（昨年比-50,000個）のエコキャップが寄せられ、保険医療の恵まれない地域の子どもの達や被災者支援の団体に送り、185人分のポリオワクチンとして支援に使われました。またプルタブは新型コロナウイルスの影響により、受付を中止しており、仕分け作業や発送も休止していましたが、令和3年6月より受付を再開します。

④ ボランティアの派遣調整（マッチング）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

ボランティア活動への支援内容	H30	R1	R2
ボランティア派遣依頼（アトラクション等）	55	68	6
ボランティア派遣依頼（傾聴・健康講話等）	18	8	2
ボランティアグループ 運営相談支援	5	2	1
ボランティアを始めたい方への相談援助	14	11	13
その他ボランティア全般に関する相談	2	5	1
合 計	97	94	23

【事業成果】

ボランティアセンターを紹介するチラシを年2回発行することにより、ボランティア登録者が増えました。

コロナウイルスの影響により、ボランティア派遣要請がなくマッチング件数も減少したので、今後もチラシ等広報活動に力を入れたいです。また、集めて送るボランティアも休止状況のため、今後どのように事業を実施していくか整理する機会となりました。

(2) 災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成24年9月1日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

【災害ボランティアセンター活動内容】

年 月 日	項目	内容
令和2年 6月19日（金）	令和2年度災害ボランティアセンター運営委員会を開催する （書面決議）	・令和元年度事業報告（案）・決算（案）について ・令和2年度事業計画（案）・予算（案）について運営委員12名に書面にて決議いただく。
7月28日（火）	京都府市町村社協南丹ブロック3社協の相互協力に関する打ち合わせ （京丹波町社協 丹波支所）	協議事項 ※令和元年度に実施予定であった南丹市での合同訓練は中止になり、令和2年度事業として京丹波町で実施予定 ・各社協での取り組みについて情報共有 ・合同訓練について 京丹波町社協4名 南丹市社協4名 亀岡市社協2名 出席
9月1日（火）	令和2年度第1回市町村社協災害ボランティア担当者会議 （ハートピア京都）	京都府域での取り組みの情報共有・意見交換をとおして、災害ボランティアや地域防災の取り組みを府内全体で高めていくことを目的に開催された。 【概要説明】災害ボランティアセンターを取り巻く動きについて 【説明】新型コロナウイルス感染症に対するボランティア保険の補償について 【基調報告】令和元年度台風19号における近畿ブロック派遣支援活動について 【説明・質問】被災地情報の提供及びコロナ禍における災害ボランティアセンターの備えについて 地域福祉係災ボラ担当1名参加（基調報告対応）
9月2日（水）	京都府市町村社協南丹ブロック3社協合同訓練打ち合わせ （京丹波町社協 丹波支所）	協議事項 ・南丹ブロック社協災害ボランティアセンター合同訓練のタイムスケジュールの確認 ・コロナ禍での訓練内容についての確認 （目的・訓練内容・参加者）

		地域支援課長・担当の2名で参加
9月26日(土)	京都府市町村社協南丹ブロック3社協 合同訓練 (京丹波町 わち夢広場)	令和2年度南丹ブロック社協災害ボランティアセンター合同訓練(コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置・運用訓練) ・通常の災害VC設置運営時にプラスどんな感染予防が必要か? ・開設前・活動中・活動終了後の3場面で検討し、コロナ対策訓練を行う。 地域支援課長他職員7名参加
10月27日(火)	京都府市町村社協南丹ブロック3社協 合同訓練振り返り (京丹波町社協 丹波支所)	9月26日(土)に開催した南丹ブロック社協災害ボランティアセンター合同訓練の振り返りを行った。 ・合同訓練の振り返りについて ・次年度に向けて(亀岡市社協主催予定) 地域福祉係災ボラ担当、実習生の2名で参加
11月15日(日)	亀岡市災害ボランティアセンター設置・運用訓練 …コロナ禍における設置・運用を検証する (ガレリアかめおか 駐車場)	コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置・運用訓練を実施。 今回の設置・運用訓練では、前述の南丹ブロック訓練で共有した動きを、亀岡市災害ボランティアセンターの動きとして再検証し、コロナ禍において実際に亀岡市で発災した際、適切な運用が行えることを目的として実施した。 亀岡市社協職員 30名(内1名実習生) 京都府災害ボランティアセンター担当職員1名 亀岡市地域福祉課職員2名 京丹波町社協担当職員2名、 南丹市社協担当職員2名 合計37名参加
11月17日(火)	令和2年度京都府災害ボランティアセンター全体研修会・初動支援チームフォローアップ研修会 (ZOOMによるオンライン会議)	現地災害ボランティアセンターの運営や避難所との連携のありかたについて、最近の活動実績を振り返るとともに新たに感染症対策の視点などを学び、さらに京都府災害ボランティアセンター関係者が最新の課題認識を共有し、いつ、どこで、どのような大規模災害等が発生しても敏速・的確に対応できるよう、平常時から備えておくことを目的として実施された。 なお、今年度は全体研修会と、初動支援チームフォローアップ研修会を合同で実施される。 参加者 事務局長1名
令和3年	令和2年度 京都府災害ボランティア	コロナ禍で被災した際、府県を超えての

2月13日（土）	センター防災人養成講座 （ZOOMによるオンライン研修）	ボランティア支援活動が困難な中、実際の被災地（熊本県など）ではどのような取り組みが実施されていたかを知り、平時からの備えや心構えを学ぶ目的で実施された。 参加者 事務局長1名
----------	---------------------------------	--

※ ニーズの把握、ボランティアの募集、活動内容については、社協ホームページ・フェイスブックで行っています。また、ボランティアの募集については府災害ボランティアセンターのホームページでも行っています。

【事業成果】

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により全国で様々な事業が中止・延期となり、開催された場合も規模縮小やオンラインにて実施されることとなりました。このような中で発生した令和2年7月豪雨災害は、九州地方を中心に河川氾濫等により大規模・広域被害をもたらしました。7県27市町村に災害ボランティアセンターが設置され、コロナ禍のもと、各地の災害ボランティアセンターでは、これまでに経験のない感染拡大防止のための対応や工夫を図りながら、被災者支援を継続する取り組みを続けてきました。

本市災害ボランティアセンターでも、今後の災害発災時にはセンター運営において感染症対策が必須の課題となると捉え、南丹ブロック社協での合同訓練および本市災害ボランティアセンター単体でも感染拡大防止を念頭に訓練を実施し、運営上での工夫や課題を職員間で共有することができました。

4. 福祉教育

市内の小中学校（計16校）に対して合計31回ボランティア・福祉体験を実施しました。

（1）障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の対策として、関係団体と連携し、DVDの作成を行い、対面での実施が難しい学校への貸出しを16回行いました。

（2）夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び市内中学校、高等学校の夏休み期間短縮により、日程の確保が困難となったため、本年の開催は中止としました。各学校及び各施設・団体へ来年度参考用の受入れ施設・団体一覧表を送付しました。

5. 各種団体への支援

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応や地域貢献について、また、地域福祉・在宅福祉の増

進に寄与するため各施設に関わる諸問題について役員会や総会、情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

今年度はコロナ禍にあったことで、各施設において、今必要なことや課題について、アンケートを取り集約したものをもとに亀岡市との懇談会を行い、情報共有をすることができました。今後も情報共有する中で、各施設が協力し合い、ご利用者や地域のため質の高いサービスの提供に努めます。

日 時	事 業 名	内 容
令和 2 年 5 月 11 日 (月)	総会 【書面決議】	令和元年度 事業報告・決算、監査報告 令和2年度 役員体制 令和2年度 事業計画(案)・予算(案)
7 月 2 7 日 (月)	亀岡市に対する要望について	アンケート送付
1 2 月 2 日 (水)	亀岡市との懇談会 ・コロナ対策等について ・人材確保・育成について ・補助金関係	・亀岡市:健康福祉部、こども未来部 各部長 地域福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課、健康増進課 保育課、保育政策担当課、各課長、福祉総務係長、 <u>計 9 名出席</u> ・亀岡市社会福祉施設協議会 :会長、副会長、監事、 ・事務局 <u>計 6 名出席</u>
1 2 月 5 日 (土)	歳末たすけあい街頭募金 【中止】	加入団体へ募金箱の設置を依頼し、亀岡市共同募金委員会が行う「歳末助け合い運動」に協力。 16 団体 79,117 円

* 上記以外に役員会を 2 回 (4/9、10/14) 行いました。

* 予定していた研修、福祉のつどいは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。

② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事 業 名	内 容
令和 2 年 7 月 29 日 (水)	第 1 回 幹事会	役員体制、事業報告、会計報告、会計監査報告 事業計画 (案)、予算(案)

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取組まれています。会議の出席・事業の支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域49の老人クラブが加盟する約2305名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

令和2年度 事業日程報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

日 時	事業名	内 容	備 考
令和2年 4月 7日(火)	正副会長・副部長会 (新・旧)	前年度事業総括	ガレリアかめおか1階
4月21日 (火)	会計監査	会計監査	社協相談室3
4月26日 (日)	会報発行	「市老連かめおか」第20号発行 2800部	株式会社ニチコミ
5月19日 (火)	臨時正副会長副部長会	前年度事業報告・決算報告・監査報告	ガレリアかめおか1階
5月26日 (火)	臨時正副会長副部長会	新体制について・表彰・あて職・各クラブの動き・友愛活動助成金配布 等	ガレリアかめおか1階
6月23日 (火)	正副会長副部長会	今後の行事・新体制アンケート・各助成金金額・定期大会 等	ガレリアかめおか研修室
7月 8日 (水)	市老連理事会	新体制・グラウンドゴルフ大会・定期大会・趣味の作品展・各部ミーティング等	ガレリアかめおか大広間
7月15日 (水)	府老連	府老連事務局長会議	ハートピア京都
7月29日 (水)	広報部	「市老連かめおか」第21号について	社協相談室3
7月30日 (木)	総務部	定期大会について	社協相談室3
8月 6日 (木)	文化部	趣味の作品展について	ガレリアかめおか研修室
8月11日 (火)	正副会長副部長会	各部の情報共有・今後の活動について	ガレリアかめおか研修室
8月20日 (木)	会長副会長ミーティング	今後の事業について	社協相談室3
8月27日 (木)	総務部	定期大会について	社協相談室3
8月28日 (金)	府老連	府老連 市町村リーダー研修会	ハートピア京都
9月 3日 (木)	市老連理事会	各部より・会員増強・今後の活動について	ガレリアかめおか大広間

9月 3日 (木)	広報部	「市老連かめおか」第21号について	ガレリアかめおか研修室
9月 3日 (木)	文化部	趣味の作品展について	ガレリアかめおか研修室
9月 9日 (水)	正副会長副部長会	単位クラブ会長会について	社協相談室2
9月15日(火) ～21日(月)	老人の日・老人週間	全国一斉取り組み	亀岡市内全域
9月17日 (木)	単位クラブ会長会	市役所助成金・会長紹介・各部より・活動報告(美馬様)・研修(中川様)	ガレリアかめおか大広間
10月13日 (火)	正副会長副部長会	各部より・新春役員会・全老連バッチ	社協世代間交流室
10月15日 (木)	府老連	京都府老人クラブ大会	ホテルルビノ京都堀川
10月19日 (月)	広報部	「市老連かめおか」第21号訂正箇所	社協世代間交流室
10月30日 (金)	文化部	趣味の作品展について	社協世代間交流室
11月 4日 (水)	会報発行	「市老連かめおか」第21号発行2800部	株式会社ニチコミ
11月 6日 (金)	会議	会計について	社協相談室2
11月12日 (木) ～13日(金)	府老連	府老連役員研修(フレイル予防の取組)	静岡県
11月17日 (火)	総務部(午前)	定期大会について	社協世代間交流室
11月17日 (火)	正副会長副部長会 (午後)	カラオケサークル助成金	社協世代間交流室
11月27日 (金)	総務部	定期大会について	社協世代間交流室
11月30日 (月)	市老連定期大会	第38回定期大会・健康づくり事業講演会	ガレリアかめおか コンベンションホール
12月 1日 (火)	総務部	定期大会について	社協世代間交流室
12月 2日 (水)	正副会長副部長会	各部の現状報告・今後の活動	社協相談室3
12月 3日 (木)	府老連	若手委員会リーダー研修会	ハートピア京都
12月10日 (木)	市老連理事会	各部の現状報告・今後の活動	ガレリアかめおか大広間

12月25日 (金)	会議（会長）	今後の活動	社協相談室3
令和3年 1月21日（木）	正副会長副部長会	事業計画・丹波ブロック・日帰り研修旅行など	社協世代間交流室
1月29日 (金)	会議（副会長）	定期大会会計など	社協相談室2
2月6日 (土)	府老連	府老連事務局長会議	京都平安ホテル
2月12日 (金)	広報部	「市老連かめおか」第22号割り付け案について	社協世代間交流室
2月22日 (月)	総務部	定期大会振り返り	社協世代間交流室
2月26日 (金)	広報部	「市老連かめおか」第22号について	社協世代間交流室
3月1日 (月)	健福部	ワナゲ大会・グラウンドゴルフ大会について	社協世代間交流室
3月3日 (水)	正副会長副部長会	各部より・予算案について・その他	社協世代間交流室
3月10日 (水)	健福部	GG大会用亀岡運動公園視察	亀岡運動公園
3月18日 (木)	市老連理事会	各部より・予算案について・その他	ガレリアかめおか大広間
3月24日 (水)	単位クラブ会長会	各部より・予算案について・その他	ガレリアかめおか大広間
通年事業	地域貢献（社会奉仕）	地域の美化・健康推進・子供の見守り他	
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢社宅への友愛訪問	

⑤亀岡市母子寡婦福祉会

対象世帯の多くが経済的に厳しい環境にあり、仕事と家事、育児等をこなしながらの生活のため、心身のゆとりがもちにくく、また情報弱者にも陥りやすい母子や寡婦の自立支援と孤立防止、健康の増進につながるための緒活動を実施する同会が、自立し主体的に事業を運営できるように事務局として支援しています。

日 時	事 業（行事） 名	内 容
令和2年 4月5日（日）	総会・支部長会	前年度の事業、決算等の報告、次年度の事業計画、予算の承認
5月10日（日）	支部長会	コロナ禍の中での事業実施について検討
12月18日（金）	孤立防止お手紙郵送事業	アンケートでの生活状況の把握、相談できる窓口の周知、その他必要な情報提供

令和3年 2月28日（日）	支部長会	アンケートを受けての次年度事業計画の検討
3月（4日間分散開催）	いきいきふれあい事業	感染防止対策を実施しての母子世帯を対象とした藍染め体験 母子や同世帯同士の交流

6. 介護保険事業 介護予防・日常生活支援総合事業

（1）訪問介護・総合事業第1号訪問（ホームヘルプ）事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 予 防 訪 問 介 護 (人)	訪 問 介 護 (人)	合 計 (人)
平成30年度	309	231	421	652
令和元年度	308	268	398	666
令和2年度	309	209	468	677

介護保険法に基づき、利用者に可能な限り在宅生活を続けていただけるように、支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、想いに寄り添い、利用者が必要とする適切なサービスを提供しました。

（2）通所介護・総合事業第1号通所（デイサービス）事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介護度別登録人数 (年度末) (人)		利用者 延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
平成30年度	305	21	52	6,135	20
令和元年度	307	14	57	6,357	20
令和2年度	309	13	52	6,445	20

* 通所介護

・中重度ケア体制加算の算定を継続

介護度が中重度(要介護3～5)であっても安心して過ごせるよう、中重度者の受け入れ体制を整えました。また、要介護3以上の利用者が30%以上を占めおり、前年度に引き続き中重度者ケア体制加算の算定を継続しました。

・認知症加算の算定を継続

算定にあたって必要な体制を確保していくために、認知症介護実践者等養成研修修了者育成に努め、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者の割合が20%以上となり、前年度に引き続き認知症加算の算定を継続しました。

* 介護予防通所介護

・生活機能向上グループ活動加算の算定を継続

利用者自らが日常生活の課題に応じた活動が選択できるよう、日常生活に直結した活動内容を複数準備し、共通の課題を持つグループで、個別の目標設定や計画のもと活動し、生活機能向上グループ活動加算の算定を継続しました。

○ 提供内容

- * 一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、新型コロナウイルス感染症予防に十分留意しながら、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来ました。隣接のガレリアかめおかの催しへの参加を積極的に行い、異なる空間へ出かけることで、利用者の刺激につながりました。
- * 年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めました。
- * ベッド臥床者の見守りや利用者の移動・居場所確認を重点に、午後からの職員の配置等の見直しを行い、利用者が安全に過ごしていただけるように努めました。

○ 職員研修

事業所内外での研修に参加することにより、個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができた。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで、安心して利用していただける施設作りにつながりました。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

【支 援 内 容】

- ・利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言。
- ・利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。
- ・医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者、地域福祉等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

○給付管理・認定調査件数

(単位：件)

	介 護 保 険	介 護 予 防	認 定 調 査
平成 30 年度	8 2 2	8 6	3 5
令和元年度	8 3 6	7 3	4 4
令和 2 年度	1 2 3 9	5 7	6 6

※主な業務内容

- ・居宅サービス計画書を作成の支援・支援経過観察と再評価・入退院時等の医療機関との連携・施設入所への支援・必要により居宅サービス計画の変更・介護保険の給付管理・要介護認定等の申請に係る援助

7. 障害者自立支援給付事業

《ホームヘルプ事業》

○利用実績

年 度	稼働日数 (日)	身体障がい者(人)	身体障がい児(人)	知的障がい者(人)	精神障がい者(人)	合計(人)
平成30年度	309	132	52	48	122	354
令和元年度	308	97	39	48	100	284
令和2年度	309	111	36	36	91	274

【事業目的】

障害者総合支援法に基づき、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者本位を心掛け、利用者が居宅において、安心して自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

＊サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。

8. 子育て支援事業

(1) ひろば事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月、5月は全日休館、7月にも9日間の休館を行いました。また、感染予防対策として、1日3回、各1時間の開放、各時間帯最大5組までという入館制限を設けました。いろいろな制限があるにもかかわらず、かめおかっこひろばを利用して子どもを遊ばせたい、スタッフや来館者と交流したいという思いから足を運ぶ親子の姿が多くみられました。

○ふれあいルーム利用状況(団体利用を除く)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
令和元年度	開館日数(日)	26	24	26	27	26	26	25	26	24	24	25	0	279	
	利用者数(人)	1,983	1,784	2,233	2,283	2,539	2,305	1,999	1,990	1,614	1,678	1,665	0	22,073	79
令和2年度	開館日数(日)	0	0	26	17	27	26	26	26	24	24	24	27	247	
	利用者数(人)	0	0	655	444	612	665	662	744	699	628	674	915	6,698	27

新型コロナウイルス感染拡大予防のための休館

【令和元年度】 令和2年3月1日～31日まで

【令和2年度】 令和2年4月1日～5月31日まで、7月21日～31日まで

○利用者カードの発行

新規利用申込者数 令和2年度：301人（令和元年度：627人）

○かめまるランド利用状況

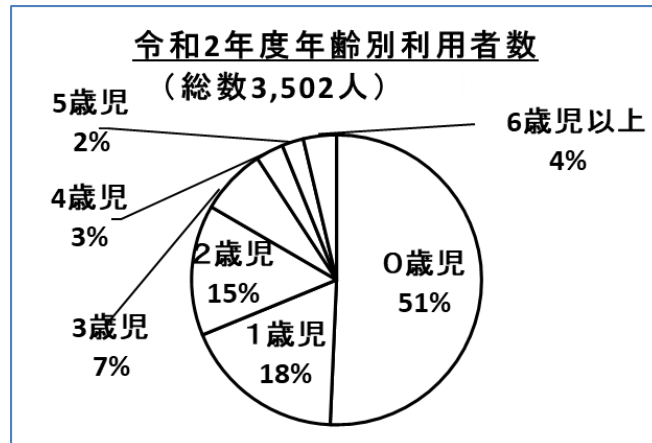
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
令和2年度	開館日数（日）									7	24	24	27	85	
	利用者数（人）									1,452	3,823	3,264	5,299	13,838	163

※かめまるランド開設・・・令和2年12月21日

○成果と課題

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者総数、新規登録者ともに大幅に減少しました。感染予防対策として、1日に受け入れる組数を最大15組までとし、利用時間も各回1時間、1日3回としました。ひろばを開放しない時間帯には、消毒や換気に努め、感染拡大予防に努めました。利用者は減少しましたが、一人ひとりの利用者にスタッフがかわりやすくなり、コロナ禍に孤立しがちな子育て家庭に寄り添うことができました。

- 利用者を年齢別に見ると、0歳児が全体の半数を占めており、今年は特にそれが顕著でした。（全体の約50%）午後からの時間帯に、1歳までの赤ちゃんをもつ母親が「赤ちゃんコーナー」で自然に集う様子が見られました。スタッフも積極的にその輪に入り、会話に加わったり相談にのったりすることで、親子に安心して過ごしてもらえるように心掛けました。



- かめまるランドは感染対策として、1日4回、1時間の時間制限と、毎回30組（緊急事態宣言発出時には15組）を上限として開館し、多くの子育て家庭に利用していただきました。

(2) つどい事業

7月より親子のつどい事業を開始。感染対策をとりながら、交流の時間を大切にしていきました。

事業名・対象	実施回数	参加人数	実施内容	実施日	講師・協力団体
オンライン プレびよひろば (妊娠中、産後間もない人)	6	22	オンラインで助産師との交流会	10月27日 11月24日 12月15日 1月26日 2月15日 2月16日 3月16日	
ひよこひろば (妊娠中～6か月まで)	7	141	ベビーマッサージ 保健師の話 リトル・ヨガ、手形足形アート 保健師の話、手形足形アート 手形足形アート、リトル・ヨガ 保健師の話、手形足形アート 保健師の話、手形足形アート	8月12日 9月9日 10月14日 11月11日 12月9日 1月13日 3月10日	芦田澄子さん 濱中一美さん 保健師(亀岡市保健センター) 主任児童委員
ひよこひろば (7ヶ月～1歳まで)	6	103	ふれあい遊びとりフレッシュ体操 すくすく相談 テーブルシアターと絵本の読み聞かせ	8月26日 9月23日 10月28日 11月25日 12月23日 3月24日	栄養士(亀岡市役所) 丸山礼子さん 湯浅和江さん
ぷくぷくひろば (1歳～2歳未満)	6	57	寒天あそび シャボン玉あそび うんどう会ごっこ スタンプあそび オンラインひろば 新聞紙あそび	8月18日 9月18日 10月6日 11月20日 2月17日 3月2日	
きらきらひろば (2歳以上)	6	68	寒天あそび たんぼぼちゃんと遊ぼう たんぼぼちゃんと遊ぼう お店やさんごっこ 落ち葉であそぼう お買い物ごっこ たんぼぼちゃんと遊ぼう	7月17日 8月28日 9月25日 10月13日 11月17日 1月15日 3月19日	榎 麗子さん
みんなのひろば (全年齢)	0	0	休止		
かガールひろば (1歳以上)	1	17	ハロウィン	10月31日	榎 麗子さん
子育て講座	1	14	講演「子育ては絵本に助けてもらっちゃおう！」	11月13日	北川チハルさん
世代間交流事業	0	0	緊急事態宣言発令により中止		
子育てネットワーク事業	3	34	子育てサークル代表者交流会	6月29日 11月30日 3月29日	
絵本のひろば	8	104	絵本の紹介・読み聞かせ	毎月 第2金曜日	北川チハルさん
おしゃべりひろば ピア・ポケット	5	36	交流	金曜日不定期	
ファミサポひろば	7	72	交流	月曜日不定期	
合計	56	668			

○成果と課題

- ・今年度はつどい事業の時間帯をひろばの開放時間の間に設け、短時間（45分）ですが8月からつどい事業を再開しました。今年度から、毎月のおたよりをLINEで配信し、利用者につどい事業などの情報を提供しました。また、前年度の反省をもとに、つどい事業の申し込み受付を電話でもできるようにしました。事前募集をすることで参加者が明確になり、事業中止の場合には迅速に連絡対応できました。
- ・妊娠中～12か月までが対象の「ひよこひろば」は、できるだけ多くの人に参加してもらえるように、午前と午後の2回、定員各5組を上限に開催し、保健師や栄養士にもこれまで通り参加してもらいました。感染予防に配慮して、人と人との距離を保ち、内容を工夫して行いました。特に毎回参加者の交流の時間の確保に努め、親同士ゆっくりと話をする時間をもつようにしました。
- ・1歳児の「ぷくぷくひろば」、2歳児の「きらきらひろば」もそれぞれ再開しました。特に大事にしたことは、親が子どもの様子に合わせて言葉をかけて遊びに誘い、ともに遊びを楽しむことです。子どもの主体性を大切にしながら、親子のやりとりを通して成長を促すように内容を工夫しました。それと合わせて、親の交流時間を確保することも重視しながら内容を計画しました。
- ・「ファミサポひろば」「おしゃべりひろばピアポケット」を新たに始めました。コロナ禍だからこそ人とのつながりが求められることから、少人数で参加者が気軽におしゃべりが楽しめる場として定着してきました。一緒に参加した子どもはスタッフが見守り託児をし、安心しておしゃべりを楽しめるよう工夫しました。

○出前ひろば

亀岡市立保育所子育て支援推進員、主任児童委員、子育て支援実践者等の皆様と連携して、地域における身近な場所で親子が集い、人々との交流から、安心と喜びが生まれる地域づくりをすすめました。

実施日	場所	家庭数	参 加 者 数				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合計
4/1(金) 中止	芝生ひろば						
5/19(火) 中止	亀岡市立図書館中央館						
6/12(金) 中止	畑野健康ふれあいセンター						
7/28(火) 中止	穂田野生涯学習センター						
9/15(火)	亀岡市立図書館中央館	4	5	4	0	6	15
10/21(水)	穂田野生涯学習センター	5	6	5	0	8	19
11/10(火)	芝生ひろば (かめおかっこ農園)	4	4	4		6	14
1/19(火) 中止	亀岡市立図書館中央館						
合 計		13	15	13	0	20	48

○成果と課題

- ・今年度は緊急事態宣言の発出により、事業が中止になった時がありました。再開し

た際には、参加者の人数制限や事前募集をし、感染症予防に留意しながら子どもたちが地域で遊び、保護者が交流できる場になるよう、実施しました。季節感のある遊び、「おはなしのへや たんぽぽ」のみなさんによるペープサートや絵本の読み聞かせ、かめおかつこ農園でのさつまいも掘りなどを楽しみました。コロナ禍で外出する機会が少ない中、出前ひろばは地域で人と繋がり、交流できる場となりました。

- ・ 亀岡市立図書館との連携の中での絵本の読み聞かせは、同じ絵本を通し、気持ちを共感でき、とてもよい時間となっています。また、読み聞かせだけでなく、会場に絵本を持って来て下さることで、様々なジャンルの絵本に触れたり、見たり、読むきっかけになっています。ひろば開始前後に絵本を見たり借りたりするなど、出前ひろばがきっかけとなり図書館を利用される姿もみられました。

(3) 妊婦来館推進事業

妊婦からの子育て支援として、保健センターと連携を取り、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や子育ての輪（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡して、支援センターへの来館の機会を提供しています。

【妊婦登録者数】

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成 28 年	0	4	0	6	5	6	1	9	2	0	7	5	45
29 年	5	13	12	2	5	6	7	3	4	4	6	13	80
30 年	5	7	4	5	9	8	2	7	4	7	6	7	71
令和元年	8	8	9	7	2	6	2	5	2	2	3	1	55
2 年	1	0	8	3	3	4	8	9	4	1	3	2	46

【成果と課題】

- ・ 妊婦さんに「子育ての輪」をプレゼントすることを今年度も継続しています。子育て世代包括支援センターと連携し、母子手帳の配付時に子育ての輪のチラシも一緒に渡してもらうようにし、プレゼントをきっかけに子育て支援センターへの来館を促していますが、チラシを見てセンターに足を運ぶ人は少ないのが現状です。特に初産の人は仕事を続けている人が多く、つながりを持つことが難しいのが課題です。
- ・ コロナ禍で外出を控えるなど、妊婦にとっては人とのつながりがもちにくい現状があるため、今年度から産前、産後間もない人を対象にした「オンラインプレびよひろば」を始めました。「おうちがそのまま子育てひろば」を合言葉に試行錯誤しながら始めたところ、毎回数組の参加があり、助産師や参加者どうしの交流を通して、産前産後の不安解消になったという参加者の感想を多くもらいました。

(4) 相談事業（おひさま）

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的なことは他機関との連携を大切に取り組んでいます。

○相談件数

(単位：件)

相談事項	来館相談	電話相談	合 計
食 事	6 9	0	6 9
排 泄	1 4	0	1 4
睡 眠	1 2	0	1 2
身体・健康	6 8	1	6 9
ことば	1 1	0	1 1
情緒・社会性	2 9	0	2 9
子ども同士の関わり	5	0	5
育児方針	0	0	0
母親支援	1 4 0	3	1 4 3
学校・幼児教育	6 4	0	6 4
苦情	3	0	3
その他	7	0	7
合 計	4 2 2	4	4 2 6

○成果と課題

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、京都府に緊急事態宣言が発出されたことにより、子育て支援センターが休館になる中、相談事業は通常通り行いました。

「自宅にずっといてしんどかった」と涙を浮かべながら話される方、仕事への不安を話される方々の不安な気持ちに寄り添い、少しでも心が穏やかに過ごせるようにと対応しました。解除後は、ルームの利用制限がある中で、ロビーでスタッフが個々に対応し、母親の不安に耳を傾けるように努力しました。

- ・休館期間があつたにも関わらず、相談件数は400件を超え、特に乳児のいる家庭が育児に不安を抱えて相談されることが多くありました。遊びなれた場所でスタッフと話したいという思いが、利用者の足を運ばせたと考えます。また、ルームの少人数での利用は、些細な変化にスタッフがより一層気付き、深く丁寧に関わることができました。毎日のようにスタッフと顔を合わせ、関わることで安心して相談出来る場となったと考えます。

今後も相談者にとって、いつでも、どんな些細なことでも気軽に相談できる場所となるよう、今以上に丁寧な対応をしていきます。

(5) 情報提供事業

○情報誌「かめおかっこひろば おたより」の発行

- ・毎月1回（年間 12回）
- ・発行部数 毎号180部

○ホームページ、LINE、Face book 等による子育て支援センター事業情報の広報・発信

(6) 子育てサークル・サロン支援

- ・登録団体数： 14 団体
- ・今年度実施団体： 7 団体
- ・開催回数： 延べ 32 回
- ・参加人数： 延べ 822 名
- ・子育てサークル代表者交流会実施 3 回

(6 月 29 日、11 月 30 日、3 月 29 日、うち 11 月 30 日はオンライン交流会)

(7) チャイルドシート貸出事業

○令和 2 年度チャイルドシート貸出台数

(台)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
平成 30 年度	12	7	7	17	9	6	6	11	13	6	4	13	111	9
令和 元年度	10	5	3	15	4	9	4	11	10	5	4	5	85	7
令和 2 年度	2	2	3	2	3	6	2	7	3	2	0	10	42	4

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止、緊急事態宣言発令に伴い、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆など大型連休の実家の帰省が減少したためか、例年と比較し、貸出台数が激減しました。

※チャイルドシートの標準使用期間が過ぎており、本体の劣化、ウレタンのひび割れ、チャイルドシートを入れる段ボール箱の老朽化が目立ってきています。また利用者から取り付け方が難しいとの声がありました。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

・子育ての援助を受けたい『おねがい会員』と、援助を行いたい『まかせて会員』により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

・今年は 7 月から新しく「ファミサポひろば」を始めました。ファミリー・サポート・センターの利用方法を知ったり、気軽に話せる場として、また、会員同士の交流の場として毎週月曜日に開催しました。年間 30 回計画し、延べ 78 人の参加がありました。

「まかせて会員が実際にどのような活動をしているか聞けて良かった」という感想や、まかせて会員、おねがい会員が同席している時には、そのままマッチングにつながった事もありました。今後は広く周知してもらえよう、ひろばの内容を分かりやすいように広報することが必要と考えます。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
おねがい会員	710	707	701
まかせて会員	254	261	274
両方会員	80	86	76
合 計	1,044	1,054	1,051

・子育て支援センターでの登録に加え、今年度は保健センターで行われる4か月健診、11か月健診時にファミリー・サポート・センターの広報を行い、年間21人の登録がありました。また子育て支援センターの情報提供や、ファミサポひろばのお知らせも行い、その場でファミサポひろばの申し込みをされた方もありました。小さな赤ちゃんを連れて出かけることはとても大変です。健診の待ち時間を使ってその場で登録でき、子育ての情報も得られることは、子育ての大変さの軽減につながると考えます。今後も継続して行っていきます。

イ、相互援助活動件数

○実績

	活 動 内 容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	0	27	30
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	120	160	250
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	0	0	1
4	小学校の放課後の預かり	1	8	4
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	202	73	326
6	学童保育の帰宅後の預かり	0	0	0
7	子どもの病気の援助	0	0	0
8	子どもの習い事等の場合の援助	511	355	241
9	保育施設・学校など休みの時の援助	20	17	11
10	保育施設など入所前の援助	4	0	0
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	17	70	17
12	保護者等の求職活動中の援助	2	1	0
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	0	2	0
14	保護者等の外出の場合の援助	53	13	9
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	15	10	1
16	その他	68	20	39
合 計		1,013	756	929
新会員登録数	おねがい会員	214	80	66
	まかせて会員	22	6	4
	両方会員	8	11	0
	合 計	244	97	70
マッチング件数		52	46	46

○成果と課題

- ・コロナ禍による生活様式の変化と、人とのかかわりの難しさが顕在化し、家庭内でも子育ての助けを求めていることが、活動数の増加に表れました。感染予防対策をとりながら、活動された「まかせて会員」の皆様には心より感謝を申し上げます。

ウ. 会員活動実績

○交流会実績

交流会名	実 施 日	参加人数	内 容
おたのしみ 交流会 「おいで～おいで～ オープンデイ」	令和2年 7月19日 (日)	0人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
会員交流会 「心も身体もリラッ クスヨガ」	令和2年 11月13日 (金)	5人	講師：濱中 一美さん ・窓の外に広がる紅葉を見ながら、ヨガで体をほぐしました。その後、グループに分かれ交流会をしました。
会員交流会 「ハーバリウムを作 ろう」	令和3年 2月5日(金)	0人	緊急事態宣言発出のため中止
合 計		5人	

○成果と課題

- ・コロナ禍が落ち着いた時期に実施した会員交流会でした。あらためて、人との関りの大切さを実感しました。今後は、新たなコミュニケーションの方法を模索していくことが必要だと感じています。

○講習会実績○

講習会名	開 催 日	内 容	参加者数
第1回 まかせて会員講習 会	令和2年 6月1日(月) 中止	説明会・登録会	0
		子どもの権利(人権)について	0
		子どもの発達、生活習慣と遊び	0
	6月2日(火) 中止	子どもの安全と身近な事故の応急処置	0
		まかせて会員として活動するために	0
子育て ネットワーク事業	6月5日(金) 中止	普通救命講習会	0
子育て ネットワーク事業	8月28日(金) 中止	普通救命講習会	0
第2回 まかせて会員講習会	9月4日(金)	説明会・登録会	4
		子どもの安全と身近な事故の応急処置	4
		子どもの発達・生活習慣と遊び	5
	9月8日(火)	子どもの権利(人権)について	4
		まかせて会員として活動するために	5

フォローアップ 講習会	12月1日(火)	病気に負けない食事を摂ろう	6
レベルアップ 講習会	令和3年 1月22日(金) 中止	リフレッシュ体操で心と身体をほぐしましょう	0
第3回 まかせて会員講習会	令和3年 1月18日 (月) 中止	説明会・登録会	0
		子どもの権利(人権)について	0
		子どもの発達・生活習慣と遊び	0
	1月19日 (火) 中止	子どもの安全と身近な事故の応急処置	0
		まかせて会員として活動をするために	0
子育て ネットワーク事業	1月25日 (月) 中止	普通救命講習会	0
合 計			28

○成果と課題

① まかせて会員講習会

- ・今年度も年3回のまかせて会員講習会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、実施できたのは9月のみでした。参加人数の制限や時間の短縮をし、感染症予防に留意しながら、ガレリアかめおか陶芸室、研修室にて行いました。
- ・まかせて会員講習会は定員を上回る数の受講申し込みがありました。コロナ禍においても「子育て家庭の応援、お手伝いがしたい」と熱い思いを持っている方がたくさんおられることを実感しました。今後もその方たちの思いが子育て家庭に届くように、講習会の実施に取り組んでいきます。
- ・亀岡市の広報誌「キラリ☆かめおか」を見て申し込みや問い合わせをされる方が多く、「キラリ☆かめおか」での広報は有効であると考えます。

② フォローアップ講習会

管理栄養士で、自宅でも料理教室をされている、栗林喜代子さんを講師に招き「社協職員の臨床心理士を講師として招き、「病気に負けない食事を摂ろう」をテーマに、健康な身体でいるための食事の摂り方や栄養についてのお話、身近な食材を使った料理のデモンストレーションをしていただきました。コロナ禍において、健康な身体でいることの大切さを学びました。しっかり栄養が採れ簡単に出来るメニューで、参加者からは「帰って早速作ります」との声も聞かれました。

③ 子育てネットワーク事業

- ・普通救命講習会を計画していましたが、毎年協力を依頼している京都中部広域消防組合が新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため講習会を中止していることを受け、今年度は中止としました。

9. 市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪！かめおかの輪！～

「つながりあおう！地域の輪！かめおかの輪！」をテーマに障がい児者、高齢者、親子、世代を超えてさまざまな人が集い、交流しお互いに思いやり、共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティの形成を目指して、地域福祉の輪を広げることを目的に例年開催していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大に伴い、やむを得ず中止いたしました。

10. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金募金実績（亀岡市共同募金委員会扱い）

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
戸別募金	5,879,740 円	6,085,883 円	6,168,074 円
その他	882,128 円	1,122,415 円	1,107,883 円
合計	6,761,868 円	7,208,298 円	7,275,957 円

○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地元の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所	ガレリアかめおか（余部町）	3 台
	東部文化センター（篠町）	1 台
	亀岡市シルバー人材センター（追分町）	1 台
	理容室リーフ（北古世町）	1 台
	J A 京都本店（余部町）	1 台

○イベント募金

赤い羽根共同募金の募金額を増やす取組として、市全体を対象に実施されるイベント（光秀祭り等）や、各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流になる住民イベント等）に市社協として参画し、ポップコーンなどを販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。

集まった募金は、翌年度の「赤い羽根共同募金地域助成金」として、「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただく予定でしたが、新型コロナウイルスによるイベントの中止や延期もあった為、今年度は参画を見合わせました。

○募金百貨店プロジェクト（寄付つき商品）

企業の社会貢献として寄付つき商品の販売を行っていただきました。今年度は新たに紙芝居絵本「ぐーちょきぱーまっさーじ」を登録していただきました。現在は5事業所、10商品の登録をしていただいています。令和2年度募金実績は、20,526 円の募金が集まりました。

○赤い羽根共同募金 助成金事業 実績

『共同募金と地域支援活動の一体化』として取り組みを行いました。

事業区分		対象事業	目的・事業内容	事業	交付実績額
特別枠		亀岡市共同募金委員会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		3	252,000 円
A	1	新たな地域支援サービスやサロンの立上げ支援	新しく住民相互の見守りや助けあいの仕組み、サロンなど居場所を作る取組	1	9,000 円
B	1	担い手(ボランティア)の養成・組織強化	ボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募り、ボランティア講座の実施や組織化を強化する	1	50,000 円
	2	理解促進のための研修活動	地域住民等を対象に福祉課題に関する研修会を実施する。	3	155,000 円
	3	共生社会を目指す福祉教育活動	子ども達や地域住民が、車いす体験や障がい者等と交流を通して理解を深め、今まで気付かなかったことに目を向け多様性を身につける機会をつくる。	5	40,000 円
	4	当事者同士のつながりをつくる交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者を支援し当事者同士のつながりを作る交流活動	8	93,000 円
	5	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待対象者等を定期的に訪問し見守るとともに、相談を受けたり必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	2	70,000 円
C	6	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リーダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	31	1,583,000 円
		亀岡市社会福祉協議会が地域を対象に行う地域福祉事業	サロン活動推進事業	1	70,171 円
			福祉体験学習(通年・夏休み体験学習)	1	103,927 円
			広報	1	205,000 円
			サロン等への緊急支援事業	1	130,000 円
地域助成		地域応援事業(イベント募金)	地域応援事業(イベント募金)に協力した地域が得た募金により行う地域福祉推進事業	6	29,960 円
合 計				64	2,791,058 円

助成金申請や報告書提出時の取りまとめについて、相談期間を設け、申請団体の立場に立っての支援を心掛けました。実施状況についてもできる限り活動の現場に実際に足を運ぶなかで確認し、共同募金の趣旨に沿った実施となるよう、地域の活動者に説明をおこないました。

また、新型コロナウイルスの影響により活動を休止している地域福祉活動に対してアルコール消毒液の配付、非接触型体温計を貸出等を行い、地域のニーズに沿った支援をする事ができました。

11. 歳末たすけあい運動

(1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ ガールスカウト京都府連盟第57団
- ・ 亀岡市母子寡婦福祉会
- ・ 亀岡市PTA連絡協議会
- ・ 亀岡中学校学習探究部
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
- ・ 亀岡市老人クラブ連合会
- ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
- ・ 京都先端科学大学教育修学支援センター
- ・ 南丹高等学校生徒会

(順不同)

(2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅 (見舞金)	837件	4,185,000
施設配分	手指消毒液27箱 タオル・石鹸・ティッシュペーパー トイレットペーパー	124,740
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	1,958,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	31,800
事務費	通信運搬費、消耗品等	255,410
当年度期間外募金		0
次年度配分予定剰余金	共同募金会へ	340,000
当年度剰余金	共同募金会へ	186,971
合 計		7,081,921

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

○在宅 (見舞金) の内訳

配 分 対 象	対象者数 (人)	配分単価 (円)	金 額 (円)
寝たきり・認知症高齢者	81	5,000	405,000
重度障害児者	678		3,390,000
交通遺児	7		35,000
被爆・公害患者	13		65,000
その他支援を必要とする家庭	58		290,000
合 計	837		4,185,000

○配分先施設の内訳

・青葉学園	・かめおか作業所	・第二亀岡園
・花ノ木医療福祉センター	・第二かめおか作業所	・第二亀岡園ケアハウス
・松花苑かしのき	・第三かめおか作業所	・亀岡友愛園 (軽費老人ホーム)
・ワークスおい	・太陽共同作業所	・亀岡友愛園 (特別養護老人ホーム)
・圭の家	・亀岡園	・関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ケアハウス朝野	・こもれび	・陽生苑
・亀岡たなばたの郷		

(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	6,118,153
篤 志 者 寄 付 金	807,676
街頭啓発 (街頭募金)	4,680
期 間 外 募 金	0
小 計	6,930,509
前年度繰越金	151,412
合 計	7,081,921

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	4 4 3, 1 4 0	大 井 町	5 2 9, 4 0 0
亀岡中部地区	4 8 3, 7 8 3	千 代 川 町	5 4 5, 9 0 0
亀岡西部地区	3 2 4, 9 9 0	馬 路 町	1 5 8, 9 0 0
東 別 院 町	1 6 9, 3 5 0	旭 町	8 4, 0 0 0
西 別 院 町	1 0 0, 8 0 0	千 歳 町	1 3 4, 4 0 0
曾 我 部 町	3 2 9, 9 0 0	河 原 林 町	9 5, 2 0 0
吉 川 町	5 3, 4 5 0	保 津 町	1 9 0, 9 0 0
蔺 田 野 町	2 7 6, 2 0 0	篠 町	1, 0 7 1, 5 0 0
本 梅 町	1 6 3, 7 0 0	東つつじヶ丘	1 4 7, 1 0 0
畑 野 町	7 4, 2 0 0	西つつじヶ丘	2 6 7, 3 0 0
宮 前 町	1 4 3, 2 4 0	南つつじヶ丘	2 5 8, 4 0 0
東 本 梅 町	7 2, 4 0 0	合 計	6, 1 1 8, 1 5 3

○篤志者寄付金内訳（順不同・敬称略）

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	1 0, 0 0 0
湯の花温泉観光旅館協同組合	1 0, 0 0 0
川東地区佛教会	1 5 0, 0 0 0
宗教法人 大本 広報渉外課	4 1, 9 6 2
亀岡金融会	2 0, 0 0 0
亀岡商工会議所	2 0, 0 0 0
亀岡建設業協会	1 0, 0 0 0
亀岡ロータリークラブ	5, 0 0 0
亀岡中央ロータリークラブ	5, 0 0 0
J A 京都亀岡女性部 八重桜の会	5 0, 0 0 0
亀岡市 P T A 連絡協議会	7 2, 0 0 0
天理教亀岡大教会	2 7, 2 0 0
篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
社交ダンスサークルもみの木会	2 0, 0 0 0
亀岡市民生委員児童委員協議会	1 6 6, 0 0 0
Hair Face SAIWAI Brainns	4, 6 9 1
亀岡市老人クラブ連合会定期大会出席者	2, 1 1 3
施設協	7 9, 7 2 1
河原林 正昭	1 0, 0 0 0

中村 功	10,000
中川 末男	2,091
瀬戸 富美子	20,000
子安 昭代	2,700
緑会 畑野	30,000
奥条ふれあい市場	4,258
亀岡市総合福祉センター募金箱	100
街頭募金	4,680
社協職員	26,400
ふれあいプラザ募金箱	3,440
匿名	5,000
合 計	812,356

(4) 物品寄付 (敬称略)

氏 名	寄 付 品
亀岡市PTA連絡協議会	タオル：427 枚 石鹸：103 個 ティッシュペーパー：251 箱 トイレットペーパー：107 ロール その他

(5) 年末年始事業

町 名	事業実施者	内 容	対 象 者	参加者数 (人)
亀 岡 地 区	亀岡地区東部社会福祉協議会	民生委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問してお米を配布	ひとり暮らし高齢者 65 歳以上	155
	亀岡地区中部社会福祉協議会	民生委員がひとり暮らし高齢者宅を訪問して買物券を配布	ひとり暮らし高齢者	110
	下矢田町5自治会	三密をさけてマスク着用を義務づけた中での集いを開催(弁当・土産を配布)	ひとり暮らし高齢者 65 歳以上	30
	亀岡地区西部自治会	お楽しみ会(映画鑑賞・楽しい話)を、三密をさけるため3日間に分けて開催(弁当・土産を配布)	ひとり暮らし高齢者 65 歳以上	43
東 別 院 町	東別院町自治会	みかん・つるし柿の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	60
西 別 院 町	西別院町自治会	正月用菓子・児童図書カード等の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	25
曾 我 部 町	曾我部町自治会	ひとり暮らし高齢者、ひとり親家庭世帯へお米を配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	109

吉 川 町	吉川町自治会	お米の配布	ひとり暮らし高齢者	2 8
蒔 田 野 町	蒔田野町地区社会福祉協議会	中止	全町民	0
本 梅 町	本梅町地区社会福祉協議会	菓子・マスクの配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	7 0
畑 野 町	畑野町自治会	宝来さん(正月のお祝い)を 安否確認しながら訪問して 配布	ひとり暮らし高齢者	9 8
宮 前 町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理を配食しながら 友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	3 2
東 本 梅 町	東本梅町自治会	子どもから高齢者までの作 品やパネル展示・抽選会・全 世代が参加したビデオ作品 の作成と上映等	全町民	2 2 0
大 井 町	大井町自治会	お茶漬けセットの配布、友愛 訪問	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	2 3 5
千 代 川 町	千代川町自治会	中止	高齢者・要支援高齢者	0
馬 路 町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	花と果物の配布	ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者	5 1
旭 町	旭町自治会	中止	高齢者全般・幼児を含 む子ども達とその家族	0
千 歳 町	千歳町自治会	コロナ感染予防対策用品(手 指消毒用アルコール・マス ク・ハンドソープ等)を配布 しながら、安否確認の訪問	高齢者世帯	2 1 9
河 原 林 町	河原林町自治会	正月用(寄せ植え)づくり	85 歳以上又はひとり暮 らし高齢者	9 3
保 津 町	保津町社会福祉協議会	記念品と見舞金のお届け	ひとり暮らし高齢者・寝た きり高齢者、障害者、低所 得者	1 6 5
篠 町	篠町自治会	おもてなしセットと挨拶状 配布しながら友愛訪問	民生児童委員訪問家庭	4 4 9
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	正月用寄せ植え講習会	地域住民全般、高齢者 全般	6 5
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もちを配布しながら、安否確 認の家庭報恩	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 5 3
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち・感染予防グッズ(うが い薬)を配布しながら安否確 認	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	1 4 5
合 計	2 4 団体			2, 5 5 5